

平成28年度

南部町教育委員会の事務の 点検及び評価報告書

《 平成 27 年度実績 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し報告するものです。



目 次

○まえがきP. 2
○点検・評価アドバイザーによる意見P. 3～5
○点検及び評価の概要P. 6
○事務事業の点検及び評価とはP. 7
○南部町教育方針P. 8～12
1. 学校教育指導の方針と重点P. 9～11
2. 社会教育指導の方針と重点P. 11
3. 文化財保護行政の方針と重点P. 12
4. 学校給食重点目標P. 12
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表	... P. 13～15
○事業毎個別評価の観点P. 16
○事業毎個別評価表 P. 17～56
○教育委員会活動の状況P. 57～60
1. 教育委員会委員構成P. 57
2. 教育委員会の活動概要P. 57～58
3. 教育委員会会議P. 59～60
○教育委員会事務局の組織の状況P. 61～64
1. 教育委員会機構図P. 61
2. 教育委員会事務分掌P. 62～63
3. 教育関係予算の状況(決算)P. 64
○町立小・中学校の「特色ある学校経営事業」の目的と実績	...P. 65～76

平成28年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

《 平成 27 年度実績 》

◆ まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報誌などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 11 月 南部町教育委員会

平成27年度の教育委員会の事務事業について、5回に渡って各担当者と点検し、評価を頂きました。

総評として、両アドバイザーから、次の様なご意見を頂きました。

点検・評価アドバイザーによる意見（平成27年度分）

教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検・評価対象の57事業は、南部町の児童生徒を含めた町民の将来を担うものであり、21世紀の南部町を支える基盤となるものと考えます。そのためにも、南部町教育方針の中の「教育はひとづくりの基盤、人づくりはまちづくり」という基本理念に改めて注視していただきたいと思います。教員の質の向上のみならず品性豊かな町民の育成はすべて「人づくり」にかかっています。

10月13日に委嘱状を受け、担当者から各事業の内容や評価等を拝聴させていただきました。限られた予算の中で、それぞれの事業が効果的に展開されていることに敬意を表したいと思います。

以下、担当部署ごとに所見を述べさせていただきます。

1 学校教育について

- (1) 「スクールサポーター支援員配置事業」について、「配置希望のある学校への増員を考えている」と方向性に示されている通り、ぜひ実現していただきたいと思います。児童生徒及び教員の支援などきめ細かな学習指導が大いに期待できるものです。
- (2) 「奨学金貸付事業」について、返還滞納者が少なからずいることが気になります。滞納者の事情を勘案しつつも滞納者への返還の働きかけの継続や、貸付者に対して学校卒業後の就職状況等の追跡調査をするなど何らかの対策が必要と考えます。
- (3) 「教職員研修事業」について、南部町の施設・歴史文化等の理解を深めてもらうためにも、新採用者だけでなく人事異動により初めて南部町に赴任した管理職を含む教職員を対象に実施していただきたいと思います。会議の席上で今後の該当者から実施してはどうかとの意見が出ました。

2 社会教育について

- (1) 「南部ふるさと塾」について、歴史講座の参加者としては全国的に有数の規模であることを伺い、関係担当者の企画・運営に敬意を表する次第です。
- (2) 「学習機会の拡充」や「生涯スポーツの振興」事業、「学校・家庭・地域の連携・協働推進」事業など、町民の多種多様なニーズに応える事業が展開されています。今後も人材バンクを充実させ各種事業の広報に工夫を凝らし、参加者のアンケートを参考にするなどマンネリ化しないよう適切な事業運営を期待するところです。
- (3) 南部町教育方針の「教育目標」1項にある「豊かな心と広い視野を持つ」観点から、さまざまな分野からの講演を聴く所謂「南部町民カレッジ」のようなものを将来的に企画してみてもどうでしょうか。勿論そのためには、事業の統廃合やビルド・アンド・スクラップを図るなど考慮しなければならぬ事柄が多々出てくることは論を俟ちません。

3 文化財保護行政について

- (1) 「史跡聖寿寺館跡」を平成32年度までに史跡公園化する計画があるということで、児童生徒や町民に親しまれ且つ当時の歴史を概観できるような看板表示のある史跡公園を期待したいものです。

(2) 少子・高齢化が進む中であって、伝統芸能の保存と次世代への継承は必要不可欠のものであり、バックアップ体制や事業の助成・継続をぜひともお願いしたいところです。

4 学校給食について

(1) おいしくしかも栄養バランスの取れた食事を摂ることは、児童生徒の心身の発達にとって極めて重要なことです。その意味で、安全・安心な給食の供給に努めておられる関係者の皆様に改めて感謝を申し上げます。今後とも、食材の安全性や児童生徒の食のアレルギー等に十分配慮しながら、おいしく安全・安心な給食の供給に精進していただければと思います。

※ 事業毎個別評価表について

評価表の項目に「概要」「実績」「成果」「評価と方向性」とありますが、「成果」「評価と方向性」の項目を、「成果と課題」「方向性」にするか、「評価」(成果と課題を記述する)「方向性」のどちらかにしたらどうでしょうか。

最後になりますが、平成27年度分の事業も多くの関係者の並々ならぬ努力により、ほとんどすべての事業が概ね達成できたということは評価に値することであり、健全な教育が実践されていることの証左であることを実感しました。

平成28年11月8日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

中村 正

点検・評価アドバイザーによる意見（平成27年度分）

1年間の事務事業は、「総合振興計画」を受けて策定された「教育方針」の学校教育及び社会教育の「指導の方針と重点」に基づいて、効果的に展開されていると思います。その事務事業の「点検及び評価」を拝見し、担当者から説明を伺いましたが、各事業が「総合振興計画」、「教育方針」を基に系統的に関連付け、創意工夫を凝らし、一層の教育行政の振興に資することを望みます。

そこで、初めに、全体的なことについて意見を述べさせていただきます。

1 「PDCAサイクル」の活用

「PDCAサイクル」の活用についての指摘がありました。事務事業の点検・評価（チェック）に当たっては、7頁にある「PDCAサイクル」を十分認識し、4つの段階を繰り返しながら、事務事業の継続的な遂行に努めて頂きたいと思います。

2 限られた人数～報告事項の簡略化～

職員数が少ない中で事務事業すべてについて点検・評価し、それを報告書にまとめることは大変であると思います。報告書では、その中から、当該年度の重点的なもの、特徴的なもの、あるいは大きく変更したものを年度毎に選択し具体的にまとめ、他の事務事業については、一覧表にまとめて報告書を作成しても良いのではないかと思います。

また、報告書の作成に当たっては、掲載の順番や構成・内容についても検討し、様々な工夫をしてほしいと思います。

3 教育委員会と町長部局の連携

例えば、南部町は「笑顔あふれる健康のまち」を宣言し、町民の健康づくりに取り組んでおりますが、健康福祉課や教育委員会の給食センター、体育館、学校、公民館等、健康に関わる行政が連携して、「笑顔あふれる健康のまち」づくりに取り組まれることを望みます。

4 教育振興協議会の存在

「教育委員会活動の中で、教育振興協議会というのがあるが、見えてこない」という意見があります。教育振興協議会は外郭団体としての扱いで、ここで取り上げられていないが、教育委員会が最も深い関わりを持つ団体なので点検・評価し、あり方、方向性などを検討してほしいと思います。

また、教育振興協議会の大きな活動であり、町の教育の1年間の方向づけをする「教育大会」も点検・評価を実施されるよう望みます。

次に、各事務事業に関連して意見を述べさせていただきます。

1 公民館運営審議会等の「審議状況・活動」

公民館運営審議会、社会教育委員など各種委員会の「審議状況・活動」についての点検・評価も行ってほしい。（「文化財審議委員」は実施している。）

2 ボランティア活動

「高齢者など町民の人材を生かして」という意見があります。各種講座等に長く参加された受講者や知識の豊富な高齢者等町民の人材を発掘・活用・育成し、ボランティア活動として、「社会教育活動支隊」（社会教育を支える隊員・社会教育をしたい人）なるものを組織することも一案ではないでしょうか。

3 職員等の交流と研修

職員の資質の向上や意欲的に業務に取り組む職員の育成のためにも、職員間の交流（コミュニケーション）、職員研修の実施、そして各種研修への積極的な参加を望みます。

4 参加人数の多少及び事業の重複と統合

参加者が少ない事業や重複事業があるという指摘があります。

参加者が少ない事業は、なぜ少ないのか、その原因や要因をアンケートなどで調べ町民のニーズを捉えて、精査、検討し解決策を講ずる必要があります。

しかし、参加者が多ければよいものではなく、事業内容や課題を考え、参加者が少ないが広がりや継続があり必要なもの、重要なものは改善しながらも実施する意義があると思います。

事業の重複については、それぞれを差別化し特殊性や特色ある事業であるときは、重複しても良いのではないかと考えます。改善・工夫の余地があるか、また、整理・統合した方が良いのかなど、十分検証されることを望みます。

前年度の意見で申し上げた最後の部分は、大事な視点であると考えてるので、再度、簡単に申し上げます。

「社会教育、公民館（事業）とは何か、どんな役割があるか」「学習しなければならない地域問題（健康づくり）など必要課題、趣味の講座など住民が学習したいという要求課題」を良く把握し、勘案し、事業に取り組みることが大切であると考えます。

その取り組みが地域毎の自治能力の向上を図り、南部町の「地域創生」に繋がって行くと思います。そして、「地域創生」の「原動力」である住民の「情熱」を育てることになると考えます。

最後に、職員の献身的な事務事業の執行に敬意を表します。直接、事務事業の点検・評価と関わりなく、アドバイザーの範疇を超え、大変僭越ながら、こうした職員の心身の健康管理にも十分配慮するよう願います。

平成28年11月8日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

庭田 卓夫

点検及び評価の概要

1 経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2 点検・評価の対象

南部町教育方針にある教育施策の重点に即して行われた事業

3 点検・評価の方法〈内部評価〉

(1) 事業担当部署による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が実施状況をまとめて評価

(2) 教育委員会による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5 点検・評価アドバイザー

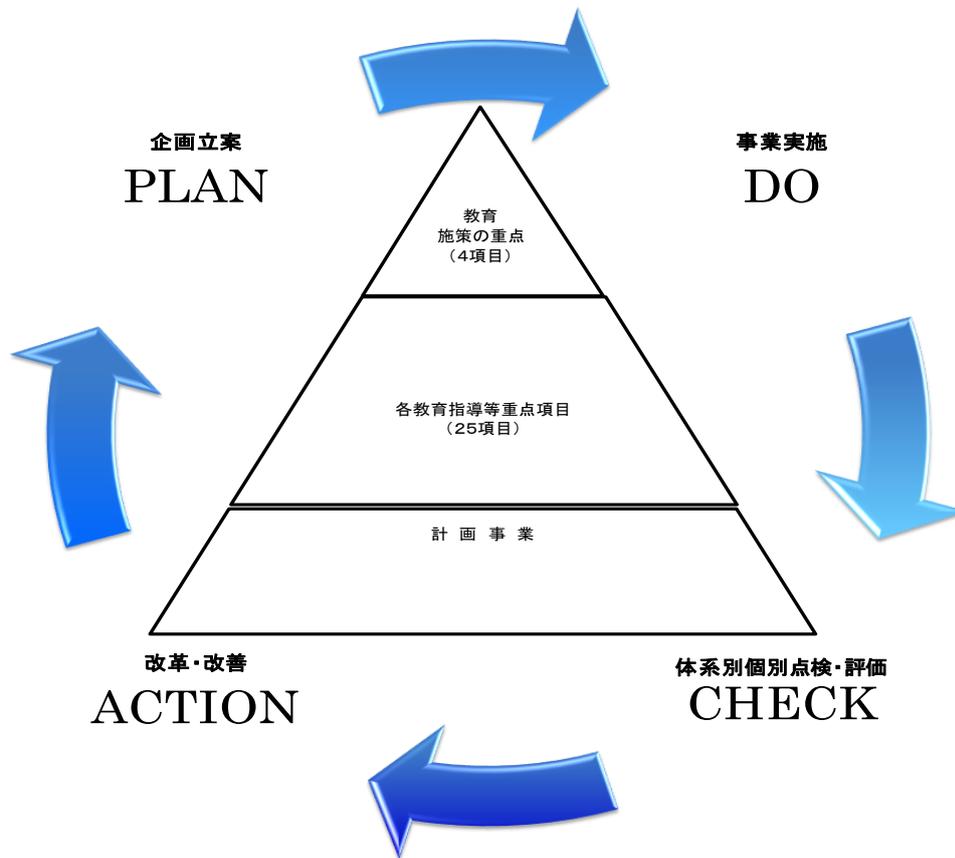
氏名	団体・役歴
中村正氏	元五戸町蛭川小学校長～前剣吉小学校長
庭田卓夫氏	元南部町教育委員会参事学務課長

(1) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回会議 平成28年10月18日開催
- ・ 第2回会議 平成28年10月24日開催
- ・ 第3回会議 平成28年10月28日開催
- ・ 第4回会議 平成28年11月 4日開催
- ・ 第5回会議 平成28年11月 8日開催

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、今後の仕事の取組みにいかにしていくものです。



事務事業の企画立案(PPLAN)、事業実施(DO)、点検・評価(CHECK)、改革・改善(ACTION)を継続して行うことで、より効果的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

◇ 基本理念

教育はひとづくりの基盤、人づくりはまちづくり

◇ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◇ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、誇りと愛着を持って郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、積極的に社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◇ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎的・基本的学力の定着や考える力を身につけさせ、夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、学校と地域の協働による教育活動と家庭教育の充実に努める。また、文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。

【学校教育指導の方針と重点】

1. 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化

イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫

ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫

エ 主体的・体験的な学習のための環境づくりの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かすことができるよう、道徳性の育成に努める。

ア 道徳的実践力を高める指導の工夫

イ 豊かな心を育む体験活動の推進

ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ 健康に関する知識を身に付け、自ら健康な生活を実践できる指導の充実

ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実
エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実

イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実

ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質、能力、態度の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善、克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習による相互理解の促進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるICTの適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進
- エ 家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 家庭や地域社会と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

ア 調和と統一のある教育課程の編成

イ 実態に即した指導計画の整備

ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

【社会教育指導の方針と重点】

1. 方針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 社会教育推進体制の整備・充実

ア 社会教育計画に基づく事業の展開に努める。

イ 社会教育施設機能の充実と活用の促進に努める。

ウ 社会教育関係団体等の活動の支援に努める。

(2) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

ア 学校と地域の協働による教育活動の推進に努める。

イ 家庭教育支援・学習活動の充実に努める。

ウ キャリア教育の推進に努める。

(3) 多様な学習機会の拡充

ア 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。

イ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。

ウ 読書活動の推進に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。

イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。

ウ スポーツ・レクリエーション活動の普及促進に努める。

エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

【文化財保護行政の方針と重点】

1. 方針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

【学校給食重点目標】

- (1) より安全、安心のおいしい給食を目指す。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。
- (3) 手作りの料理を心がける。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。

教育委員会事務事業一覧

◇学校教育指導の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
1	スクールサポーター支援員配置事業	17	学務課
2	スクールカウンセラー配置事業	17	〃
3	小学生国内交流事業	18	〃
4	教育支援委員会事業	18	〃
5	就学援助事業	19	〃
6	学校の芸術文化活動事業	20	〃
7	学校施設管理事業	20	〃
8	奨学金貸付事業	21	〃
9	特別支援教育就学奨励費補助事業	21	〃
10	中学生海外派遣事業	22	〃
11	語学指導外国語青年招致事業	22	〃
12	教職員研修事業	23	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	24	幼稚園

◇社会教育指導の重点との関連

14	家庭教育セミナー	25	社会教育課
15	家庭教育講座(おもしろ体験教室)	25	〃
16	ふるさと“楽習”キャンプ	26	〃
17	青年教室	27	〃
18	まべち笑楽校	28	〃
19	南部ふるさと塾	29	〃
20	学校と地域ネット推進事業	30	〃
21	成人式	31	〃
22	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式	32	〃
23	南部七唄七踊り全国大会	32	〃

◇文化財保護行政の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
24	文化財審議委員会議	33	史跡対策室・ 社会教育課
25	町内文化財パトロール事業	33	〃
26	奥州街道の整備・活用・普及事業	34	〃
27	国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理・公開活用	34	〃
28	史跡聖寿寺館跡調査整備委員会	35	〃
29	史跡聖寿寺館跡整備事業	36	〃
30	史跡聖寿寺館跡の発掘調査	36	〃
31	史跡聖寿寺館跡の活用(見学・体験発掘・出前授業)	37	〃
32	伝統芸能・技術の継承事業	38	〃

◇社会教育指導の重点との関連

33	趣味の教室	39	公民館
34	アロマフィットネス講座	39	〃
35	英会話教室	40	〃
36	ルーシーダットン教室	40	〃
37	やさしいフラ教室	41	〃
38	タブレット体験教室	41	〃
39	第9回町民運動会	42	体育館
40	第10回町民歩け歩け運動大会	42	〃
41	第5回総合優勝制スポーツ大会	43	〃
42	ニュースポーツinスクール	44	〃
43	ニュースポーツ移動教室	45	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
44	転倒・寝たきり予防教室	46	B&G海洋センター
45	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム	47	〃
46	B&G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業	48	〃
47	B&Gスポーツ大会青森県大会推進事業	48	〃
48	B&Gクリーンフェスティバルなんぶ	49	〃
49	小学校水泳教室	50	〃
50	第2回南部町駅伝競走大会	51	〃
51	第23回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業	52	〃
52	第31回うぐいすマラソン大会	53	〃

◇学校給食の重点目標

53	より安全・安心のおいしい給食を目指します。	54	学校給食センター
54	栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかります。	54	〃
55	手作りの給食を心がけます。	55	〃
56	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。	55	〃
57	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。	56	〃

事業毎個別評価の観点

1. 事業の評価

事務事業の実績の評価は、南部町の教育の施策に基づいて、各事務事業の担当者が事務事業評価表を作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- **計画性**：事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。
- **効率性**：コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。
- **効果性**：総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。
- **妥当性**：町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎(期待どおり)	80%以上
評価が中位の事業	○(ほぼ達成)	60~80%
評価が低い事業	△(期待以下)	60%以下

2. 総合評価

総合評価は、1の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは 休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に休止・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

スクールサポーター支援員配置事業		事業の評価 ◎	
(1)授業の充実		総合評価 B	
概要	教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を小・中学校に配置する。		
実績	小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任教諭を支援する目的として各校に1名ずつ配置した。なお、1名あたり年間で950時間程度の勤務とした。		
	配置校	全12校（各1名）	
	事業費	小学校配置8名	9,003千円
		中学校配置4名	4,560千円
合計	13,563千円		
成果	学級担任教諭を支援することにより目の行き届いた指導ができるようになり、全児童生徒が授業や諸活動に集中できるようになった。		
評価と方向性	全12校に配置し、教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒への支援ができており、今後も継続して行く。予算的に余裕があれば、特に配置希望のある学校への増員を考えたい。		

学務課関係 No.2

スクールカウンセラー配置事業		事業の評価 ◎
(1)授業の充実、(5)生徒指導の充実		総合評価 B
概要	学校におけるいじめや不登校児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度で専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置、派遣し、教育相談体制の充実を図る。(県の事業)	
実績	児童生徒へのカウンセリング、教諭及び保護者に対するカウンセリングや助言・援助を行った。	
	配置校	南部中
	派遣校	名川中・福地中・福地小
	配置時間	356時間/年間
事業費	県費負担	
成果	児童・生徒・保護者また教師からの相談等に、効率的なカウンセリングができた。自主的に相談を受ける生徒が少しずつではあるが、以前より増えてきている。	
評価と方向性	中学校へのカウンセラー配置が固定されつつあり、配置・派遣された学校では有効に活用され一応の成果が見られている。 カウンセラーは、1校に対し2～3年の継続が必要である。また、特に配置されていない小学校に対する活用条件の緩和が必要である。	

小学生国内交流事業		事業の評価 ◎								
(1)授業の充実、(2)道徳教育の充実、(3)特別活動の充実		総合評価 B								
概要	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流を通して、ふるさとの歴史や自然等について、理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童の友情や愛郷心を育むことを目的とし、訪問地ならではの体験やゲームなどを行い交流を深める。									
実績	<p>平成27年度は、青森県南部町の児童が山梨県南部町に訪問(青森県と山梨県で隔年交互訪問)し、交流ゲームや富士山登山等を実施して交流を深め、南部氏の歴史についての講義を聞くことにより、両町の歴史的なつながりや町の特色についての理解を深めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期</td> <td>7/22(水)～7/24(金)</td> </tr> <tr> <td>当町参加児童</td> <td>30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,239千円</td> </tr> <tr> <td>当町参加者負担金</td> <td>10千円/名(一般会計の雑入 300千円)</td> </tr> </table>		実施時期	7/22(水)～7/24(金)	当町参加児童	30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名	事業費	1,239千円	当町参加者負担金	10千円/名(一般会計の雑入 300千円)
実施時期	7/22(水)～7/24(金)									
当町参加児童	30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名									
事業費	1,239千円									
当町参加者負担金	10千円/名(一般会計の雑入 300千円)									
成果	青森県・山梨県南部町の計60名の児童が、交流活動を通して友情を育んだ。両町の歴史的なつながりやお互いの町の特色について、南部氏の歴史講話や「南部氏供養塔」の見学、富士山登山等を通して理解を深めることにより、児童の愛郷心や探究心が育まれた。									
評価と方向性	両町の歴史的なつながりを理解し、また愛郷心を育むことのできる、教育的効果の高い事業であるため、今後も継続の予定である。									

学務課関係 No.4

教育支援委員会事業		事業の評価 ◎								
(1)授業の充実、(7)特別支援教育の充実		総合評価 B								
概要	幼児及び児童生徒について、専門的調査や検査を行って、就学期間等の適切な教育措置についての判断を行う。特別の支援を要する幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談を実施する。									
実績	<p>○ 判定件数</p> <table> <tr> <td>幼児</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26件</td> </tr> </table>		幼児	11件	児童	12件	生徒	3件	計	26件
幼児	11件									
児童	12件									
生徒	3件									
計	26件									
成果	幼児及び児童生徒の検査結果により、特別の支援を要する者の保護者に対して専門的な指導、助言を行い、保護者が適正な就学先を選択することができた。									
評価と方向性	保育園、幼稚園、小・中学校からの相談について、専門的調査・検査を行って、各学校において保護者等への就学支援・相談業務を円滑に実施している。しかし、一部の保護者の中には、検査結果を受入れられない方もおり、学校・委員会の密な連携が必要である。									

就学援助事業		事業の評価												
(1)授業の充実		◎												
		総合評価 B												
概要	<p>児童生徒に対し、学用品費・修学旅行費を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。 なお、給食費については、平成27年度から実施の給食費無料化に伴い、援助の対象から除いた。 H27年度 認定基準</p> <p>○ 要保護：生活保護受給者</p> <p>○ 準要保護：次のいずれかの措置を受けた者で、前年度の所得が生活保護基準額の1.1倍以下の世帯に属する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活保護受給停止または廃止 2. 世帯全員が市町村民税非課税世帯 3. 世帯全員が市町村民税の全額減免 4. 世帯全員が国民年金保険料を全額免除 5. 国民健康保険料(税)全額減免または徴収猶予 6. 児童扶養手当の全額受給 7. 世帯の経済状態が悪く、学校納付金の支払いが困難(収入指数1.1倍以下) 													
実績	<p>○ 要保護児童生徒</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 5名</td> <td>中学生 3名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>48千円</td> <td>95千円</td> </tr> </table> <p>※要保護児童生徒の、援助対象は修学旅行費のみである。 ※要保護児童生徒に係る事業費の1/2以内で国庫補助金あり。</p> <p>○ 準要保護児童生徒</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 93名</td> <td>中学生 66名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,344千円</td> <td>3,911千円</td> </tr> </table>		認定者数	小学生 5名	中学生 3名	事業費	48千円	95千円	認定者数	小学生 93名	中学生 66名	事業費	2,344千円	3,911千円
認定者数	小学生 5名	中学生 3名												
事業費	48千円	95千円												
認定者数	小学生 93名	中学生 66名												
事業費	2,344千円	3,911千円												
成果	<p>経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を適切に行うことができた。</p>													
評価と方向性	<p>義務教育の円滑な実施を図るために、学校及び関係課と連携し今後も継続して実施していく。</p>													

学校の文化芸術活動事業		事業の評価 ○
(3) 特別活動の充実		総合評価 B
概要	<p>文化庁の事業として実施されている「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業・派遣事業)」を活用し、小・中学校から希望を募り実施する。</p> <p>本事業のうち派遣事業は、文化庁からの照会に対して、学校が事業内容を企画して・応募し、審査の結果により実施されるものである。</p>	
実績	<p>○ H27年度は、各学校に開催希望を募ったところ、以下の希望があり事業を開催した。</p> <p>芸術家の派遣事業</p> <p>茶道(福地小学校)9/14(月)、11/9(月)、12/14(月) … 110千円</p> <p>えんぶり(杉沢小学校)12/3(木)、1/29(金) … 70千円</p> <p>※H27年度は巡回公演事業の実施はなし。</p>	
成果	<p>「茶道」や地域の伝統芸能「えんぶり」を体験したことで、感性や地域への関心、郷土愛を深めることができた。</p>	
評価と方向性	<p>文化庁の事業であるが、児童が文化芸術と接する貴重な機会を得ることができるため、今後もさらに体験する機会をつくっていく必要がある。</p>	

学務課関係 No.7

学校施設管理事業		事業の評価 ◎
(教育施設環境の整備)		総合評価 A
概要	<p>幼稚園、小・中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。</p>	
実績	<p>小中学校の修繕及び施設整備工事の施工を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕 5,395千円(小中学校12校の施設修繕) ・施設整備 156,993千円(名久井小学校大規模改修工事ほか2件) 	
成果	<p>計画した小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し、学校の環境整備が図られた。</p>	
評価と方向性	<p>施設の老朽化により必要な修繕・維持工事は実施している。</p> <p>今後も、利便性向上のため修繕・維持工事を行っていく必要があるが、築25年以上経過した学校施設については、部分的補修ではなく、施設の全面改修工事の実施を検討する必要がある。</p> <p>また、平成25年度に実施した非構造部材の耐震点検の結果を基に対策を実施し、地震時の安全対策を図る必要がある。</p>	

奨学金貸付事業		事業の評価 ◎
(6)キャリア教育の推進		総合評価 B
概要	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共に健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	
実績	・貸付状況 ○平成27年度実績 ・貸付人数 58名(新規採用者 14名) 高等学校 7名 ・ 専門学校 5名 ・ 短期大学 3名 ・ 大学 43名 ・貸付総額 25,570,000円 ・滞納状況 一般会計:17名 6,741,813円 奨学基金:12名 4,879,000円	
成果	将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。 新規貸付者については前年度より数名増えたが、全体の人数は減少している。	
評価と方向性	経済上の理由から就学のための資金を必要としている者への貸付として、事業の継続が必要である。 現在は、貸付の決定は採用基準により実施している。 今後、貸付事業を継続していくために、採用基準の検討。また返還滞納者へ働きかけを継続し、滞納額を減らすよう努力していく。	

学務課関係 No.9

特別支援教育就学奨励費補助事業		事業の評価 ◎						
(7)特別支援教育の充実		総合評価 B						
概要	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒、特別支援学級等へ就学する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費等の補助を行う。 なお、給食費については、平成27年度から実施の給食費無料化に伴い、補助の対象から除いた。							
実績	○ 特別支援学級 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 4名</td> <td>中学生 3名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>142千円</td> <td>121千円</td> </tr> </table> ※事業費の1/2以内で国庫補助金あり。		認定者数	小学生 4名	中学生 3名	事業費	142千円	121千円
認定者数	小学生 4名	中学生 3名						
事業費	142千円	121千円						
成果	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減できた。							
評価と方向性	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、学校との連携をしながら今後も継続していく。 将来を担う児童生徒が就学するための手助けとなった。							

中学生海外派遣事業		事業の評価 ○									
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価 B									
概要	研修テーマの、「～進化 新化 深化 親化～」を心に刻み、海外の歴史や文化・産業等の視察や現地の学生と交流を図り、国際感覚を養う。また、ホームステイの体験を通してコミュニケーション能力を養う。										
実績	町内4中学校の2学年から参加生徒を選抜し、6泊8日の日程でカナダのブリティッシュコロンビア州(バンクーバー)に派遣した。 現地では、ホームステイや体験型語学研修として学生と交流を図った。										
	<table border="1"> <tr> <td>派遣期間</td> <td>10/23～10/30</td> </tr> <tr> <td>募集人員</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>参加生徒数</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>8,228千円</td> </tr> <tr> <td>参加者負担金</td> <td>90千円/名 (一般会計の雑入 2,700千円)</td> </tr> </table>		派遣期間	10/23～10/30	募集人員	35名	参加生徒数	30名	事業費	8,228千円	参加者負担金
派遣期間	10/23～10/30										
募集人員	35名										
参加生徒数	30名										
事業費	8,228千円										
参加者負担金	90千円/名 (一般会計の雑入 2,700千円)										
成果	多感な時期に海外を訪問し、国際感覚やコミュニケーション能力を身に付けたことにより、積極性やリーダーシップに目覚め、学校内外の活動に取り組む姿勢等に変化が現れた。										
評価と方向性	今年度は、カナダ研修3年目で、ホームステイ先などで、より生の英語に触れる機会に恵まれた。また、町内の中学校の生徒が交流する貴重な機会となった。諸外国との新学期的の違いや学校からの時期検討の要望等もあり、今後の事業展開について状況を見ながら検討したい。										

学務課関係 No.1 1

語学指導外国語青年招致事業		事業の評価 ◎
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価 B
概要	英語を母国語とする外国語指導助手が児童生徒の身近にいることにより、英語能力の向上及び興味・関心を持つことを図る。	
実績	JETプログラム活用の外国語指導助手 1名 民間業者への委託の外国語指導助手 1名 ※委託料:1か月 372,600円 計2名を幼稚園・小中学校の英語指導の助手として配置した。 幼稚園では、月2回程度園児が英語に慣れるよう、発音練習や英語の唄を歌う等の指導を行った。 小中学校へは毎週訪問し、授業のほか、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英会話指導を行った。	
	成果	外国語指導助手の活用により、授業の質の向上や児童生徒の学力向上、幼稚園の英語教育の指導体制の充実が図られた。また、中学生のスピーチコンテストでは県大会へ出場し優秀な成績を収めている。
評価と方向性	平成26年7月より1名を民間業者へ委託し、今まで以上に英語指導が充実できるようになった。また、平成28年7月でJETプログラムのALTが任期満了となるため、追加で民間業者へ委託を希望する。今後は、小学校5・6年生での授業必須科目となる。また3年生までの英語指導を必要とするため、現在の人数では指導の確保が難しいため、増員を希望し、充実が図れるようにしていく。	

教職員研修事業		事業の評価 ○
(11)研修の充実		総合評価 C
概要	教職員の新採用者に対して、南部町の教育課程・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、教職員の認識向上を図り学習指導に取り入れている。	
実績	<p>○南部町ふるさと研修(4/30) 対象者:2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部利康霊屋・聖寿寺館跡 現地説明(講師:社会教育課 永井 治) ・町内施設等見学(町営地方卸売市場・恵光院※ぼたん園・法光寺・名川チェリリン村・名川南小学校・名川B&G海洋センター・給食センター・ふるさと運動公園・医療健康センター・剣吉公民館・農村環境改善センター福寿館・バーデパーク) 	
成果	町内の歴史や文化、施設等を知り、南部町の全体像を把握させることができた。	
評価と方向性	<p>受講者の声・意見を聞いて、児童生徒の学習に役立つような研修内容(文化・歴史)になるよう、研修内容のステップアップを図る。</p> <p>今後、研修を通じて町の教育課題・文化歴史等を広く理解し、児童生徒の指導に役立つよう、研修内容の検討を行っていく。</p>	

町立幼稚園運営事業		事業の評価 ○
(13)幼稚園教育の充実		総合評価 B
概要	・名川幼稚園入園者数:3歳児 10名・4歳児 12名・5歳児 16名 合計 38名	
実績	<p>○名川幼稚園</p> <p>①教育目標 げんきにたのしくあそぶことも</p> <p>②教育課程 基本的な生活習慣を定着させ、自立の基礎を培う。 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について園内研修を実施した。</p> <p>③学校行事 5/3 春祭り 9/15 りんご狩り 2/25 名久井小学校訪問 その他、夕涼み会、運動会等に小学生を招待する。</p> <p>・遊具・用具 室内:積み木、ブロック、ままごと、縄跳び、ボール 他 室外:ブランコ、滑り台、雲梯、砂場 他</p> <p>・安全管理 避難訓練(地震、火事、不審者)・交通安全指導</p> <p>・特別支援教育 教育相談や関係機関と連携し、随時実施した。</p> <p>・研 修 三戸郡幼稚園研究会研修 年2回、弘前大学教育学部附属幼稚園公開研究会 年1回 幼保小連携研修会、小学校授業参観 他</p> <p>・保護者との連携 園だより、個人面談、参観日、父母会の各種行事 他</p>	
成果	<p>恵まれた教育環境を有効活用し、豊かな体験を通して生きる力の基礎を培うことができた。</p> <p>幼保小連携部会の研修に参加し、園児と小学生の交流により、信頼感やあこがれの気持ちが芽生え向上心が育った。</p>	
評価と方向性	<p>創造性や言語能力の向上を目指し、各年齢に相応な自発的遊びを通し総合的な指導から一人ひとりの発達の特성에応じた指導に努める。</p> <p>保護者の保育ニーズを的確に捉えながら、限られた職員数の中ではあるが、より一層、幼稚園教育の充実を図りたい。</p> <p>小学生との交流を通して、就学への不安が払拭され、小学校へのスムーズな移行ができたので、今後も引き続き継続する。</p> <p>平成28年4月1日から公立から民営化へ移行となる。</p>	

家庭教育セミナー		事業の評価	○
(2)学校・家庭・地域の連携・協働の推進		総合評価	B
概要	町内小学校及び乳幼児施設において心身の発達と子育てのあり方等を学ぶ講座を開催した。		
実績	○ 町内小学校及び乳幼児施設の要望に対応し講座を開催した。		
	参加者数	303名	
	開催回数	5回	
	開催場所	名久井小学校 5月・6月 親子コーディネーショントレーニング	
		なんぶ保育園 6月 子育てに関する講座	
名川幼稚園 6月 親子(祖父母)ふれあい体操			
事業費	30千円(講師謝金)		
成果	町内小学校及び乳幼児施設の参観日等、保護者の集まる機会を利用し、様々なプログラムにより親子のふれあいが持たれ充実した内容となった。また、子育てに関する資質の向上が図られた。		
評価と方向性	<p>幼児期における心身の発達と子育てのありかたを学ぶ機会となった。参加者のアンケートによると概ね好評であり、もっと多くの開催を希望する。</p> <p>内容については良く、参加して非常に有意義であったとの意見が寄せられた。保護者の子育てに関する資質と能力の向上を図る上で重要であるため、今後も継続していく。</p>		

社会教育課関係 No.1 5

家庭教育講座 (おもしろ体験教室)		事業の評価	○
(2)学校・家庭・地域の連携・協働の推進		総合評価	B
概要	親子でのいろいろな体験活動によるコミュニケーションやふれあいの時間を作るための講座を開催した。		
実績	○ 親子での参加による体験活動型の講座を開催した。		
	参加者数	90名 (小学生)	
	開催回数	3回	
	開催場所	名川ドライフラワーセンター ほか	
	講座内容	12月：雪だるまポット、お正月しめ飾り、バルーンアート	
事業費	49千円		
成果	親子で、共同して制作活動を行うことにより、各工程において、作業する際のコツなどの会話がはずみ、コミュニケーションづくりの一助となった。		
評価と方向性	親子で参加する事業であったため、コミュニケーションづくりが図られ、事業の目的は概ね達成できた。今後については、内容、回数、開催日、対象者を検討し継続したい。		

ふるさと“楽習”キャンプ		事業の評価 ○
(3)多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	野外での団体活動により、相互の交流を深め、自然体験を学ぶ野外体験活動を行った。	
実績	○ 活動内容 共同生活、野外炊事、焼き板クラフト作り、ドラム缶風呂 流しそうめん、カヌー体験、ニュースポーツ、清掃活動	
	参加者数	17名(小学校4～6年生)
	開催回数	1回(1泊2日)
	開催日	7/28～7/29
	開催場所	名川チェリリン村他
	事業費	71千円
	参加料	1,700円(材料費、保険料)
成果	野外でのテント生活やドラム缶風呂など、日頃体験できないプログラムを取り入れて行った。同世代や地域の方々との交流が図られ、団体行動により社会性や自主性を養う機会となった。 また、ふるさとでの開催で、地域の食生活改善グループとの関わりにより、ふるさとの食に関わる様々なお話をいただきながら、調理などが行えた。	
評価と方向性	子どもたちの感想文からは、体験活動が楽しく行われたことが伺えた。さらに、地域の人たちとふれあうことで、豊かな人間性を培う機会となるとともに、地域の教育力向上が期待できるので事業の継続が望まれる。	

青年教室		事業の評価 ○										
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B										
概要	青年による自発的な学習・体験・交流活動を行った。親睦を深め、同世代の「つながりの輪」を広げるとともに若者による町づくりを考える機会となった。											
実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td>延べ50名</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>講座内容 開催日</td> <td> 第1回 5/23 (土) フィットネスエクササイズ 第2回 6/26 (金) ジェルキャンドル作り 第3回 7/24 (金) バーベキュー懇親会 第4回 8/29 (土) カヤック体験 (中止) 1/10 (日) 成人式実行委員会協力及び成人式開催協力 第5回 2/27 (土) 郷土料理教室 </td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>南部公民館 他</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>25千円(講師謝金)</td> </tr> </table>		参加者数	延べ50名	開催回数	5回	講座内容 開催日	第1回 5/23 (土) フィットネスエクササイズ 第2回 6/26 (金) ジェルキャンドル作り 第3回 7/24 (金) バーベキュー懇親会 第4回 8/29 (土) カヤック体験 (中止) 1/10 (日) 成人式実行委員会協力及び成人式開催協力 第5回 2/27 (土) 郷土料理教室	開催場所	南部公民館 他	事業費	25千円(講師謝金)
参加者数	延べ50名											
開催回数	5回											
講座内容 開催日	第1回 5/23 (土) フィットネスエクササイズ 第2回 6/26 (金) ジェルキャンドル作り 第3回 7/24 (金) バーベキュー懇親会 第4回 8/29 (土) カヤック体験 (中止) 1/10 (日) 成人式実行委員会協力及び成人式開催協力 第5回 2/27 (土) 郷土料理教室											
開催場所	南部公民館 他											
事業費	25千円(講師謝金)											
成果	<p>青年の興味・関心の多様化が進んでいるため、活動の中心となる青年で実行委員会を作り、様々な意見を取り入れて学習内容を設定した。</p> <p>参加者数は内容によってばらつきがあるものの、他事業での知り合いへの声かけや友人同士の誘い合いにより、若者の集まりやすい環境となっていた。</p>											
評価と方向性	<p>現在は、他事業で構成されたグループ(成人式実行委員会)に町職員が入り、実行委員会を組織し教室の内容を検討している。</p> <p>青年の交流により若者による将来の南部町を考える機会となるため、今後も内容を考慮し、町内在住の青年を多く巻き込みながら教室を開催していく方向。</p>											

まべち笑楽校		事業の評価	◎																				
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B																				
概要	<p>月2回(第1・第3火曜)、高齢者(65歳以上)の生きがいをづくりをねらいとして、学校方式を模して学習活動を行った。</p> <p>地域の各種愛好者を指導者に迎え、学習内容を国語、算数、理科、社会、体育、音楽、家庭生活、図画工作、外国語、総合に置き換えた。</p>																						
実績	<table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>20名</td> <td>男性5名</td> <td>女性15名</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td colspan="3">16回</td> </tr> <tr> <td>講座内容 開催日</td> <td colspan="3"> 入学式 5/12 授業日 5/19、6/2、6/16、7/7、10/6、10/20 11/17、12/1、12/15、2/2、2/16、3/8 卒業式 3/15 修学旅行 11/4 十和田湖、弘前城方面 </td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td colspan="3">剣吉公民館 他</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td colspan="3">122千円(講師謝金、消耗品等)</td> </tr> </table>			参加者数	20名	男性5名	女性15名	開催回数	16回			講座内容 開催日	入学式 5/12 授業日 5/19、6/2、6/16、7/7、10/6、10/20 11/17、12/1、12/15、2/2、2/16、3/8 卒業式 3/15 修学旅行 11/4 十和田湖、弘前城方面			開催場所	剣吉公民館 他			事業費	122千円(講師謝金、消耗品等)		
参加者数	20名	男性5名	女性15名																				
開催回数	16回																						
講座内容 開催日	入学式 5/12 授業日 5/19、6/2、6/16、7/7、10/6、10/20 11/17、12/1、12/15、2/2、2/16、3/8 卒業式 3/15 修学旅行 11/4 十和田湖、弘前城方面																						
開催場所	剣吉公民館 他																						
事業費	122千円(講師謝金、消耗品等)																						
成果	<p>高齢者の自発的な活動をねらい、学習内容は話し合いで決めている。学習活動では、参加者の積極性が伺われ、常に笑いがあり明るい雰囲気の中での学習が出来た。教科内容については南部町に関わるものとする事に努め、講師は主に町内在住者に依頼した。</p> <p>参加者からは、「他地区の人と知り合えた」、「色々な事が勉強できた」、「1年間楽しかった」などの感想が寄せられるなど、高齢者の学習意欲の向上が図られ、生きがいをづくりの一助となった。</p>																						
評価と方向性	<p>まべち笑楽校は3期生の卒業を終え、卒業者は59名となった。同窓会も組織され、今後、社会活動への参加も期待できる。</p> <p>まべち笑楽校の学習活動は参加者に好評であり、高齢者の生きがいをづくりとなるため、今後も継続が望ましい。</p>																						

南部ふるさと塾		事業の評価	◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	A
概要	<p>南部ふるさと塾では、この歴史的な魅力あふれる地域性を活かし、南部地方の歴史に関連する各分野の研究者を講師として招き、町内外を問わず広く、郷土の歴史・伝統・文化を学習する場を提供することを目的としている。</p> <p>27年度のテーマは、南部信直夫妻の墓石が27年8月14日に県重宝建造物に指定されたことを記念し、『激突！ 南部信直と九戸政実』とした。町内でも前哨戦が行われた戦国史上最後の戦いであった南部信直と九戸政実の戦いについて、対立の歴史的背景を様々な角度から検証した全6回シリーズを展開した。</p>		
実績	<p>27年度のテーマは、南部信直夫妻の墓石が27年8月14日に県重宝建造物に指定されたことを記念し、『激突！ 南部信直と九戸政実』とした。町内でも前哨戦が行われた戦国史上最後の戦いであった南部信直と九戸政実の戦いについて、対立の歴史的背景を様々な角度から検証した。</p> <p>第1回 青森県文化財審議委員会委員 工藤竹久氏『南部信直夫妻墓の実測調査』 9/5 弘前大学名誉教授 齊藤利男氏『南部信直—その生きざまと人物—』 9/5 参加者：217名 会場：町民ホール</p> <p>第2回 旧盛岡藩士桑田元理事長 下山寛氏『南部一門の内紛と九戸政実の乱』 10/3 参加者：260名 会場：町民ホール</p> <p>第3回 三戸町教育委員会主幹 野田尚志氏『三戸城の歴史—三戸南部氏が築いた戦国の城—』 11/21 参加者：230名 会場：町民ホール</p> <p>第4回 二戸市教育委員会主任 柴田知二氏『戦国時代の九戸城—二ノ丸発掘調査の成果から—』 12/5 参加者：230名 会場：町民ホール</p> <p>第5回 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 中村隼人氏 『中世南部氏の建築文化』 1/23 参加者：134名 会場：町民ホール</p> <p>第6回 八戸工業大学第二高等学校教諭 熊谷隆次氏『九戸一揆と豊臣政権』 2/20 参加者：248名 会場：町民ホール</p> <p>合計1,319名</p> <p>○ 事業費 165千円(講師謝金)</p>		
成果	<p>講座毎に毎回実施しているアンケートに基づき、次年度のテーマや講師を選定した。講師選定に当たっては、共催団体の町歴史研究会と協議し決定した。また、当日の受付等の会場運営を歴史研究会と共同で行った。10月3日に開催した第2回講座では、平成18年度の事業開始以降過去最高の260名が参加した。参加者は全体で1319名を数え、前年度比で484名増加した。八戸市や二戸市等近隣市町村はもとより青森市、弘前市、盛岡市、秋田市、山形県、東京都、神奈川県、静岡県等遠方からの参加者もあり、テーマを絞ったシリーズ化や周知活動が効果的に働いたと考えられる。はじめての参加者が15%を占め、新規参加者の開拓に成果があった。</p>		
評価と方向性	<p>町外の参加者に対し、歴史をとおして町をPRすることができた。歴史講座の参加者数としては全国的にも有数の規模であり、南部町の歴史や文化財を地域資源として掘り起し、今後も講座をとおして町内外にPRするため継続が望まれる。</p>		

学校と地域ネット推進事業		事業の評価	◎
(2) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進		総合評価	B
概要	小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家、愛好家に学校教育活動に講師として参加してもらい、児童・生徒の基礎的事項の定着を図り、地域に対する愛着の心を育むことを目的にした事業を行った。		
実績	○ 学校の要望に応じた講師（ゲストティーチャー）を派遣する。 学校が社会教育課へ計画書を提出する。講師との連絡調整は社会教育課が行う。		
	対象者	児童、生徒、一般	
	講師	25名	
	開催回数	175回	
	開催場所	小・中学校	
	学習項目	踊り・郷土芸能 — 名川音頭・山車作り・南部手踊り・えんぶり・レクリエーションダンス 学術・歴史 — 書道・七踊り鑑賞会 生活・産業 — 郷土料理・お菓子づくり・米作り・トマト栽培・りんご栽培・コサージュ作成・押し花コースター作り 趣味・娯楽 — 読み聞かせ・昔話語り 音楽・楽器 — サックス・三味線・歌唱 その他 — 陸上指導・保健師の仕事	
	事業費	407千円(講師謝金)	
	成果	町内学校への事業周知に力を入れた結果、開催数が前年度より15回程度増加した。 講師は主に地域在住の方に依頼しているが、「地元へ貢献したい」との意識から謝礼金不要で協力を得られたケースもあった。	
評価と方向性	文化・歴史・芸能等に精通している方や、地域在住の方に講師を依頼することにより、学校と地域の連携が多く見られた。 今後の課題として、様々な分野の新規講師の発掘・確認とともに、関係各課との連携など臨機応変に対応する必要があると考える。 学校教育・社会教育ともに学習効果が大きいいため、今後も事業の継続が望まれる。		

成人式		事業の評価	◎						
(1) 社会教育推進体制の整備・充実		総合評価	A						
概要	<p>成人式実行委員会 新成人自らの手で、大人への節目である成人式を作り上げることを目的として組織し、式典内の各代表や係分担、アトラクション他、企画・運営にかかわる様々な事項を協議した。</p> <p>成人式の開催 町連合青年団の協力により、式典・アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）・記念写真撮影を行った。</p>								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開催日時 平成28年1月10日（日）13時00分～ ○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール） ○ 事業費 467千円 ○ 事業内容 式典、アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）、記念写真撮影（記念品） <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; width: 50%;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">対 象 者</td> <td style="text-align: center;">202名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参 加 者 数</td> <td style="text-align: center;">159名（出席率78.7%）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 行 委 員 会</td> <td style="text-align: center;">5回</td> </tr> </tbody> </table>			対 象 者	202名	参 加 者 数	159名（出席率78.7%）	実 行 委 員 会	5回
対 象 者	202名								
参 加 者 数	159名（出席率78.7%）								
実 行 委 員 会	5回								
成果	<p>町連合青年団及び成人式実行委員会の協力・連携により、円滑に式典を進行できた。</p> <p>前回の課題であった「新成人の控え室（おしゃべりする場所）」と「女性の新成人を降車させる場所」を設置した結果、混雑解消にも役立った。</p> <p>成人式開催に向けた実行委員の役割を増やした結果、多くの交流が持たれ、他の社会教育事業（青年教室）への参加も多く見られた。</p>								
評価と方向性	<p>成人式を青年教育の一つとし、成人としての自覚と自己の責任を持つ決意を促すことができるよう、実行委員会の役割や町連合青年団との関わりを多く持たせ、将来の町の担い手となる新成人に「地域づくり」へ参加する機会となるよう、町連合青年団と連携し拡大・充実を図る。</p>								

事業個別評価表

《 社会教育指導の方針と重点 》

社会教育課関係 No.22

南部町文化賞・スポーツ賞表彰式		事業の評価	◎
(1) 社会教育推進体制の整備・充実		総合評価	B
概要	町の文化向上に貢献した者、町の体育・スポーツの振興発展に功績があった者を表彰した。		
実績	○ 開催日 2/13 (土)		
	○ 開催場所 町民ホール (楽楽ホール)		
	○ 事業費 228千円		
	文化功労賞	1名	
	文化賞	17名	
	文化奨励賞	1団体 (32名)、46名	
	スポーツ功労賞	1名	
スポーツ賞	2団体 (27名)、10名		
スポーツ奨励賞	3団体 (28名)、30名		
成果	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績のあった方々を表彰した。		
評価と方向性	町民の模範とみられる功績があった方々への賞であることと、受賞者には今後の励みとなることから継続が望まれる。		

社会教育課関係 No.23

南部七唄七踊り全国大会		事業の評価	◎	
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B	
概要	南部七唄七踊りの啓発、普及、後継者育成を目的に大会を行った。			
実績	○開催日 9/27 (日)			
	○開催場所 町民ホール (楽楽ホール)			
	○実行委員会 年4回 大会の内容を協議			
	出場者数	七唄小学生の部	3名	
		七唄中・高生の部	3名	
		七踊り子どもの部	35名	
七踊り大人の部		28名		
事業費	2,900千円 (町補助金)			
成果	南部七踊りの大会が21回、南部七唄の大会が16回開催され、会場が満員になっているので町内外からの関心の高さが伺える。 大会出場者の大人の部の年齢層が若い世代に移行しているため後継者育成が進行している。			
評価と方向性	南部七唄七踊りは町の文化財にも指定され、多くの方々に支持されているため継続が望まれる。			

事業毎個別評価表

《 文化財保護行政の方針と重点 》 史跡対策室関係 No.24

文化財審議委員会議		事業の評価	○
(1) 文化財の保護・保存		総合評価	B
概要	文化財審議委員会議の開催 文化財審議委員による町指定文化財候補物件の調査、文化財の指定		
実績	会議の開催日	7/3・8/27・3/16	
	青森市小牧野遺跡の視察研修	8/20	委員5名出席
	三八地区文化財保護研究集会	10/9	委員5名出席 会場：三戸町中央公民館・三戸城
	事業費	139千円	
成果	青森市の国史跡小牧野遺跡で整備状況の視察研修を行った。 新規に八木田の十三塚、聖寿寺館跡出土金箔土器、向鶴銅製品の3件について、町文化財指定を決定した。		
評価と方向性	町指定文化財の候補物件は毎年地道に調査し、所有者の了承を得た上で指定していく必要がある。		

史跡対策室関係 No.25

町内文化財パトロール事業		事業の評価	○
(1) 文化財の保護・保存		総合評価	B
概要	町内に所在する文化財について、パトロールを通して現状を把握し保護活動に努める。		
実績	主な業務	遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握	
	実施日	通年	
	事業費	— 円 県費負担	
	パトロール件数	18件	
成果	文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握することができた。		
評価と方向性	文化財・埋蔵文化財の保護には必要不可欠な事業であり、今後も継続してパトロールを実施する必要がある。		

奥州街道の整備・活用・普及事業		事業の評価	○
(2) 文化財の整備・活用		総合評価	B
概要	南部町には、江戸時代に定められた五街道のひとつである「奥州街道」が南北に縦断している。年1～2回程度、奥州街道の刈り払いを行い、管理・整備している。また、町の歴史を楽しく学ぶ奥州街道ウォークも実施し、活用・普及している。		
実績	奥州街道ウォーク	10/29 参加者40名 向小学校・南部小学校6年生合同	
	事業費	— 円	
	※手作りパンフレットの作成・設置		
成果	奥州街道沿いには数多くの文化財があり、街道を歩いて町の歴史を楽しく学ぶことは、一般の方はもとより児童にとっても新鮮に映ったようである。奥州街道についての問い合わせは年間を通して一定量あり、今年度は手作りパンフレットを社会教育課に設置している。		
評価と方向性	奥州街道や奥州街道ウォークに対して一定のニーズがあり、今後も事業を継続していく。		

史跡対策室関係 No.27

国指定重要文化財『南部利康霊屋』の保存管理・公開活用		事業の評価	◎
文化財保護行政の方針と重点との関連4－(1)		総合評価	B
概要	南部利康霊屋の保存管理（除草・植木の手入れ・霊屋トイレの管理・修繕） 南部利康霊屋の公開・活用（通年で社会教育課が予約を受け公開、ぼたんまつり期間中は職員が立ち会い霊屋の特別公開を実施している） 南部利康霊屋保存管理委員会への助成（町から430千円）		
実績	事業内容	4月 4月～11月 4月～11月 5月下旬～6月上旬 8/18 11/21	霊屋覆屋正面開戸交換 霊屋公園環境整備 霊屋拝観業務 ぼたんまつり期間中：霊屋特別公開 南部利直命日 南部利康命日
	事業費	957千円（うち、430千円は保存管理委員会へ助成）	
成果	拝観にあたっては、他市町村の郷土史研究会関係の団体客の予約が多くみられ、拝観者が増加した。前年度から破損していた霊屋覆屋正面開戸を交換し、霊屋トレイの水道の修理も行い、見学環境の整備に努めた。		
評価と方向性	南部利康霊屋は貴重な国指定重要文化財であり、保存管理を継続していく必要がある。		

史跡聖寿寺館跡調査整備委員会		事業の評価	◎
(2) 文化財の整備・活用		総合評価	B
概要	『史跡聖寿寺館跡』を史跡公園化として整備するため、平成26年3月に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画書』に基づき、史跡聖寿寺館跡調査整備委員会を開催し、発掘調査の進め方や史跡公園化に向けた整備内容について話し合う。		
実績	○ 史跡聖寿寺館跡調査整備委員会（委員 14名）		
	視察研修 8/20（木）	整備先進地 青森市国史跡小牧野遺跡の視察 ・青森市小牧野遺跡保護センター（展示収蔵施設） ・青森市小牧野遺跡保護観察施設（ガイダンス施設） 担当者から整備の概略説明を受けたのち、現地視察を実施	
	第5回会議 9/24（木）	発掘調査現場、整備予定地の現地視察 発掘調査成果についての検討 整備予定の説明板の内容・文面・復元想像図についての具体的な検討	
	第6回会議 2/18（木）	今年度確認された大型掘立柱建物跡についての検討 整備事業の報告 ガイダンス・維持管理施設についての検討	
	事業費	548千円	
成果	28年度に整備予定のガイダンス施設について情報を収集するため、先進地視察（青森市）を実施した。また、27年度の発掘調査、整備内容について検討を進めた。		
評価と方向性	平成25年度の『史跡聖寿寺館跡整備基本計画書』、平成26年度の『史跡聖寿寺館跡整備実施計画』に基づき、平成27年度から32年度までの計画で聖寿寺館跡を史跡公園として整備していく。		

史跡聖寿寺館跡整備事業		事業の評価	◎
(2) 文化財の整備・活用		総合評価	A
概要	平成26年3月に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画』に基づき、平成32年度までに聖寿寺館跡を町民が親しみ、憩いの場となるような史跡公園として整備するものである。整備は発掘成果に基づき、主殿や会所等城館の中心建物をはじめ、周辺の厩や井戸、竪穴建物について遺構表示し、当時の調査写真や図を交えた説明板を設置する。また、遊歩道や方向指示表示を配置し、城館北側にある駐車場や虎口はエントランスとして整備する。虎口付近には部分的に塀を立体表示し、史跡公園内には、四阿（あずまや）やベンチ等を配置する。		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整備内容 今年度は平成10年度の発掘調査で確認された、倉庫や作業場、鍛冶工房と考えられる竪穴建物3基について、建物の範囲を透水性樹脂舗装により平面表示し、傍らには名称を記したサインプレートを配置した。また、竪穴建物の用途や復元想像図・写真を掲載した説明板を1基設置した。 ○ 事業費 5,840千円 (国庫補助 2,920千円) 		
成果	整備事業は平成32年度までの計画で、段階的に史跡公園として整備していくものである。平成27年度は初年度にあたり、倉庫や工房の平面表示とともに、説明板を1基設置した。		
評価と方向性	聖寿寺館跡の整備が今年度いよいよスタートした。当時の復元想像図や発掘当時の写真などを入れ、また、説明文は一般の方からも意見を募り、わかりやすい説明板となった。文化庁や県、地域住民と連携をとりながら実施していく必要がある。		

史跡対策室関係 No.30

史跡聖寿寺館跡の発掘調査		事業の評価	◎
文化財保護行政の方針と重点との関連4－(2)		総合評価	A
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成5年から発掘調査を継続中 (国庫補助 5割補助) ・ 発掘調査期間 5/14～11/26 遺物整理期間 11/1～3/15 調査面積 約2,386㎡ ・ 調査地点 大型掘立柱建物跡が検出された前年度調査区の北側・東側・南側に調査区を設定 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査で確認された事項 ・ 遺構としては東北最大クラスの大型掘立柱建物跡や竪穴建物跡・溝跡・中世カマド遺構を確認。 ・ 遺物としては青磁碗・皿、白磁皿・小杯、染付碗・皿、赤絵皿、瀬戸美濃皿、天目茶碗等の陶磁器、角釘、銭貨、金泥で装飾された筭等の金属製品、砥石、茶臼等の石製品、ガラス玉 ・ 東北では聖寿寺館跡でしか出土していない金箔土器が1点出土 威信財と考えられる青磁不遊環付瓶、瑠璃釉磁器が出土した。 ○ 事業費：7,042千円 (国庫補助 3,521千円) 		
成果	東北最大規模の大型掘立柱建物跡を複数確認し、その成果はデーリー東北新聞の1面に掲載された。この大型掘立柱建物跡は部分的に重複しており、建物の変遷がはじめて把握できた。また、これまでの調査ではじめて、柱穴の底から根石とよばれる基礎が確認された。建物とともに塀も確認されたため、中心部分の空間構造の把握ができた。また、まとめとして平成26・27年度2か年分の発掘調査報告書を刊行した。		
評価と方向性	今年度の調査地点から確認された建物の規模は東北最大規模であり、また、出土遺物は当時としても希少性の高い高価なものが出土していることから、格式の高い中心的な空間であったことが想定され、今後は周辺部に調査区を延長し、空間利用の把握に努める必要がある。		

史跡聖寿寺館跡の活用（見学・体験発掘・出前授業）		事業の評価	◎
文化財保護行政の方針と重点との関連4－（2）		総合評価	B
概要	史跡聖寿寺館跡の見学や体験発掘を通して、町の歴史を児童・生徒に現地で実際に体感してもらう体験型の学習プログラム。各学校での出前授業では、職員が講師となって、スライドを交えながら町の歴史を解説する。		
実績	○ 体験発掘 小学校：5校及びまべち笑楽校1回 参加者数：149名		
	実施日	実施内容	参加者
	5/29	福田小学校体験発掘	36名
	6/16	名久井小学校体験発掘	44名
	7/3	向小学校・南部小学校合同体験発掘	40名
	7/7	まべち笑楽校体験発掘	20名
	7/16	名川南小学校体験発掘	9名
	○ 団体見学 12団体 405名		
	実施日	実施内容	参加者
	6/9	田子町立上郷小学校（聖寿寺館跡見学）	15名
	7/10	青森大学オープンカレッジ（聖寿寺館跡見学）	50名
	7/12	NHK文化センター弘前教室（聖寿寺館跡見学）	42名
	7/16	一戸小島谷公民館講座（聖寿寺館跡見学）	30名
	9/2	田子町立田子中学校（聖寿寺館跡見学）	40名
	9/2	平内町歴史講座（聖寿寺館跡見学）	62名
	9/14	六戸町夢追い学習塾（聖寿寺館跡見学）	37名
	9/27	八戸南万丁親交会（聖寿寺館跡見学）	25名
	9/30	八戸高洲活き活きサロン（聖寿寺館跡見学）	27名
	10/4	達者村百景満喫スクール（聖寿寺館跡見学）	30名
	10/23	八戸教育同友会（聖寿寺館跡見学）	17名
	10/25	南部町合併10周年記念歴史ツアー	30名
	○ 出前授業 小学校：4回 一般：1回 参加者数：113名		
	実施日	実施内容	参加者
6/10	福田小学校地域の文化財社会科見学(3年生)	8名	
7/7	まべち笑楽校 郷土史出前授業	20名	
7/17	福田小学校歴史ウォーク出前授業(6年生)	34名	
10/30	福田小学校文化財めぐり出前授業(6年生)	34名	
11/27	福地小学校出前授業(6年生)	17名	
○ 事業費 一円			
成果	小学校5校とまべち笑楽校計149名が体験発掘に参加した。町内外の小学生が体験発掘や出前授業をとおして南部氏歴史を体感していた。学校からは、継続して出前授業や体験発掘のニーズがあり、郷土の歴史学習に対し効果をあげている。		
評価と方向性	地元の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、今後も町内の学校と連携し、児童・生徒に郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、郷土に誇りをもてるような郷土史学習プログラムを推進していきたい。		

伝統芸能・技術の継承事業		事業の評価	○												
(3) 伝統芸能・技術の継承		総合評価	B												
概要	郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し助成する。														
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">助成団体</td> <td>南部町郷土芸能保存会</td> <td>370千円</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化財保存・活用事業(13団体)</td> <td>260千円</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化財後継者育成事業(9団体)</td> <td>180千円</td> </tr> <tr> <td>郷土芸能後継者育成事業(南部七唄七踊り子ども教室)</td> <td>450千円</td> </tr> </tbody> </table>			実施内容	事業費	助成団体	南部町郷土芸能保存会	370千円	無形民俗文化財保存・活用事業(13団体)	260千円	無形民俗文化財後継者育成事業(9団体)	180千円	郷土芸能後継者育成事業(南部七唄七踊り子ども教室)	450千円	
		実施内容	事業費												
	助成団体	南部町郷土芸能保存会	370千円												
		無形民俗文化財保存・活用事業(13団体)	260千円												
		無形民俗文化財後継者育成事業(9団体)	180千円												
郷土芸能後継者育成事業(南部七唄七踊り子ども教室)		450千円													
<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2・第4土曜日に町内公民館で南部七唄・七踊り子ども教室を実施 町郷土芸能保存会の会員が講師で指導(町内の小・中学生が参加) ○ 毎年2月の南部地方えんぶりに補助金を交付 230千円 															
成果	町指定の無形民俗文化財の継承活動のために有効に活用され、後継者の育成に役立っている。														
評価と方向性	伝統芸能の保存と次世代への継承には必要不可欠な事業であり、南部町郷土芸能保存会や郷土芸能の継承者より事業の継続の要望が寄せられており、今後も継続して助成していく。														

趣味の教室		事業の評価	◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	受講者数6名以上で月2回以上開催が要件で開催し、自己の知識・能力の向上を図ることを目的に行っている。		
実績	○ 町民主体による教室 26講座 生け花、エアロビクス、英会話(中級)、カラオケ、さわやかリズム体操、女声コーラス、混声コーラス、シルバーコーラス、詩吟教室、社交ダンス、写真・絵画、太極拳、陶芸、ヨガ、南部手踊り、パソコン		
	舞踊、フレッシュレクダンス、パッチワーク、よさこい、リフレッシュ体操、名川カラオケ研究		
	ブックトーク、スポーツダンス、スポーツ吹矢、フラダンス		
	登録者数	370名	
	開催期間	5月～2月（月2回以上開催）	
開催場所	町内公民館、体育館、B&G海洋センター、伝承館等		
事業費	2,013千円(講師謝金)		
成果	受講者の希望により開講しているため、学習意欲が高く、楽しみながら学習した。また、受講生による実行委員会が組織され、3月に学習成果を披露する発表会が行われた。		
評価と方向性	どの教室も好評であり、今後も生涯学習の拠点として支援が望まれる。		

社会教育課関係（公民館）No.34

アロマフィットネス教室		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	アロマの効用とストレッチを含む運動を結びつけ、健康維持の一助となるよう開催した。		
実績	○ アロマフィットネスに関する講義と演習		
	登録者数	19名	
	参加者数	延べ114名	
	開催回数	8回（10/7～11/25）	
	開催場所	福地公民館	
事業費	80千円(講師謝金)		
成果	アロマについて原産地や効用・注意点など香りについて講義を受けた。アロマを用いて芳香浴を楽しみ、コロンなどさまざまな物作りにも挑戦した。		
評価と方向性	アロマについて学習し、香りを楽しみ、運動をすることにより、香りと運動を結びつけた健康づくりに効果があった。受講者からは継続を望む声があるため継続が望まれる。		

英会話教室（初級）		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	高校生以上の町民を対象に、日本にいて外国人と接した時に対応できるよう、英語に親しみ、英語での簡単な日常会話ができるように開催した。		
実績	○ 英会話に関する講義と演習		
	登録者数	18名	
	参加者数	延べ157名	
	開催回数	12回（9/15～12/8）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	144千円（講師謝金）	
成果	老若男女問わず参加者は明るい雰囲気を受講していた。参加者の学習態度は極めて意欲的で、外国人講師による本物の英語を学ぶ良い機会となった。		
評価と方向性	テーマに沿った学習方法や内容は充実しており、参加者からの継続希望が強いため、継続が望まれる。		

社会教育課関係（公民館）No.36

ルーシーダットン教室		事業の評価	◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	ルーシーダットン（タイ式ヨガ）の特徴である呼吸法を実践しながら様々なポーズを学び、体全体の血液やリンパの流れをスムーズにし、健康維持の一助となるよう開催した。		
実績	○ ルーシーダットンに関する講義と実習		
	登録者数	26名	
	参加者数	延べ145名	
	開催回数	8回（10/19～12/14）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	80千円（講師謝金）	
成果	精神と体が鍛えられ、健康の維持管理に効果が大きくあった。		
評価と方向性	精神の安定方法や健康であるための自己治癒力を身につけるなど、健康管理について学ぶことができた。受講者の多くの方から継続の声が多く、今後も継続が望まれる。		

やさしいフラ教室		事業の評価	◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	A
概要	年齢や経験を問わず、仲間づくりや心身のリフレッシュ等、潤いのある生活の一助なるよう、楽しくやさしく学ぶことのできるようフラダンス教室を開催した。		
実績	○ フラダンスの実技演習		
	登録者数	27名	
	参加者数	延べ68名	
	開催回数	4回（7/9～7/24）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	20千円（講師謝金）	
成果	フラダンスを主体に参加者同士の協調性も生まれ、自己の資質向上が図られた。学習意欲も非常に高い教室だった。		
評価と方向性	フラダンスの基礎的部分を習う内容で、昼の部・夜の部と設け、参加者の都合の良い時間に参加していただけるよう考慮した。参加者は非常に意欲的であり今後も継続開催を望んでいたため、趣味の教室へ移行しながらの開催を進めていく。		

社会教育課関係（公民館）No.38

タブレット体験教室		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	D
概要	現在普及しているタブレットの操作を学習し、知識教養を身につける。		
実績	○ タブレット(タッチパネル端末)の操作に関する講義と実習		
	※タブレット台数 10台		
	講師 NTT東日本八戸営業部職員		
	申込者数	32名	
	参加者数	32名	
	開催回数	4回（8/27、8/31 両日とも午前、午後の2回）	
成果	開催場所	中央公民館、南部公民館	
	事業費	－円	
成果	NTT職員のサポートにより、タブレットを実際に操作し、インターネット等を体験しながら学習した。自己の資質向上が図られた。参加者の中にはタブレットを持ってはいるものの、操作もできずに保管しているという方もあり、今回の教室がきっかけづくりとなった。		
評価と方向性	これまでに町内3地区（福地地区、南部地区、名川地区）において開催し、一巡したことにより一旦終了する。		

第9回 町民運動会		事業の評価	◎								
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B								
概要	町民の健康増進と町民相互の親睦を深め健康で明るく住みよい町づくりに寄与し、明日への活力を養うため開催。 15競技種目に、小学生から60歳以上の競技種目において地区対抗戦として実施。										
実績	<table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>18チーム（役員及び選手数 1,807名）</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>10/11</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>南部中学校</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,495千円</td> </tr> </table>			参加者数	18チーム（役員及び選手数 1,807名）	開催日	10/11	開催場所	南部中学校	事業費	1,495千円
参加者数	18チーム（役員及び選手数 1,807名）										
開催日	10/11										
開催場所	南部中学校										
事業費	1,495千円										
成果	全町内18チームの参加を得て行われており、町民相互の融和と年代各層の親睦と交流が図られた。										
評価と方向性	各チームのアンケートにより、スポーツ推進委員、スポーツ指導員で運営及び競技種目の検討を図り、今年度の開催に反映させた。 全町民が一堂に会して、実施されるスポーツイベントであり今後も町民の意見を参考に改善を図っていく。										

社会教育課関係（体育館）No.40

第10回 町民歩け歩け運動大会		事業の評価	◎										
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B										
概要	町民の体力づくりと参加者相互の親睦を深めるとともに、日常生活の中で歩くことの重要性を再認識することで、健康で明るい町づくりに寄与することを目的に毎年度開催。 毎年、企画したコースで参加者を募集し、行政バスにて実施場所へ移動、設定した目標地点まで全参加者でトレッキングする。												
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>南部町民</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>125名</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td>7/5</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>秋田県駒ヶ岳</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>176千円</td> </tr> </table>			対象者	南部町民	参加者数	125名	実施日	7/5	実施場所	秋田県駒ヶ岳	事業費	176千円
対象者	南部町民												
参加者数	125名												
実施日	7/5												
実施場所	秋田県駒ヶ岳												
事業費	176千円												
成果	天候に恵まれ、目標地点まで全参加者が踏破でき、参加者の健康増進が図られた。												
評価と方向性	歩くことの重要性を、多くの参加者が再認識している。 歩くことは個々の体力に合わせた手軽な運動であり、町民の体力づくり、健康の維持・増進に必要と考えられることから、今後、多くの参加者を集めるため、参加者等の意見を参考に、新たなコースを計画するなど、目的達成のため事業展開を図っていく。												

第5回総合優勝制スポーツ大会		事業の評価	◎																											
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B																											
概要	6競技種目別における町内対抗スポーツ大会。結果発表及び表彰式は、町民運動会で行う。 (バウンドテニス、軟式バレー、ユニホック、ソフトボール、ペタンク、)																													
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 一般成人による町民運動会チーム単位の18チームが参加対象 (バウンドテニス大会から始まってペタンク大会で終わる。) ○ 事業費 98千円 																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">種目</th> <th style="width: 25%;">開催日</th> <th style="width: 25%;">開催場所</th> <th style="width: 25%;">参加チーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1バウンドテニス大会</td> <td>平成26年12月17日</td> <td>名川B&G海洋センター</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2軟式バレーボール大会</td> <td>平成27年1月25日</td> <td>町民体育館</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>3ユニホック大会</td> <td>平成27年2月15日</td> <td>町民体育館</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>4グラウンドゴルフ大会</td> <td>平成27年5月31日</td> <td>あけぼの多目的広場</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>5壮年ソフトボール大会</td> <td>平成27年6月28日</td> <td>南部中学校 他</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>6ペタンク大会</td> <td>平成27年7月12日</td> <td>すば一く・ながわ</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>・優勝 たいらチーム 準優勝 剣吉・森越チーム 3位 あかぬちチーム</p> <p>※対象期間 平成26年12月～平成27年7月</p>	種目	開催日	開催場所	参加チーム	1バウンドテニス大会	平成26年12月17日	名川B&G海洋センター	13	2軟式バレーボール大会	平成27年1月25日	町民体育館	15	3ユニホック大会	平成27年2月15日	町民体育館	15	4グラウンドゴルフ大会	平成27年5月31日	あけぼの多目的広場	16	5壮年ソフトボール大会	平成27年6月28日	南部中学校 他	中止	6ペタンク大会	平成27年7月12日	すば一く・ながわ	14	
種目	開催日	開催場所	参加チーム																											
1バウンドテニス大会	平成26年12月17日	名川B&G海洋センター	13																											
2軟式バレーボール大会	平成27年1月25日	町民体育館	15																											
3ユニホック大会	平成27年2月15日	町民体育館	15																											
4グラウンドゴルフ大会	平成27年5月31日	あけぼの多目的広場	16																											
5壮年ソフトボール大会	平成27年6月28日	南部中学校 他	中止																											
6ペタンク大会	平成27年7月12日	すば一く・ながわ	14																											
成果	5年目となり、「総合優勝制スポーツ大会」が各地域に浸透してきた。 また、各チーム(地区)の競技力が向上してきている。ソフトボール大会は雨天のため中止し得点は参加チームで分散した。																													
評価と方向性	町民誰もが、参加しやすいスポーツ大会として、参加チームが増えている。 今後は、更に意識の向上を高め大会を盛り上げるとともに、体育協会加盟団体と連携を密にし、種目等の充実を図りながら、全チームが参加するように努める。																													

ニュースポーツ in スクール		事業の評価 ○
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 B
概要	青少年のスポーツ活動の充実とスポーツの普及を図るため、町内の小・中学校の要望に応じてニュースポーツ in スクール教室を実施。	
実績	対象者	町内小・中学生
	講師	スポーツ指導員 11名
	依頼者	名久井小学校 4年生から 6年生（名久井小学校はクラブ活動の一環としてニュースポーツ in スクールを申込みしている。）
	参加者数	延べ 132名 （名久井小ニュースポーツクラブ 12名）
	状況	<ul style="list-style-type: none"> ・バウンドテニス：5/7～6/25 3回、 ・ユニホック：8/27～10/22 5回 ・ドッチビー：11/12～3/5 3回
	開催場所	名川 B&G 海洋センターアリーナ
	事業費	19千円
成果	名久井小学校 4年生から 6年生のニュースポーツクラブからの要望で、ニュースポーツ in スクールを行った。内容からニュースポーツの楽しみは、参加した児童へ伝わった。	
評価と方向性	「ニュースポーツ in スクール」は、誰でも気軽に参加できることから、町内小・中学校の児童生徒には効果的な事業と考える。 今後は他の小・中学校が利用できるよう別の種目等も含め、積極的な広報活動を行っていく。	

ニュースポーツ移動教室		事業の評価 ◎																											
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 B																											
概要	町内の各種団体からの要望により、場所を問わず出向きニュースポーツ移動教室を開催して、ニュースポーツ普及と地域住民の健康維持及び増進を図る。																												
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 町内各種団体 ○ 参加者数 232名 ○ 講師 スポーツ指導員8名 ○ 事業費 20千円 ○ 事業内容 																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">依頼者</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 20%;">種目</th> <th style="width: 15%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/12</td> <td>向小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>福地小学校5年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/19</td> <td>福地小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>南部中学校3年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>8/30</td> <td>南部中グラウンド</td> <td>グランドゴルフ</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>南部小学校2年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>10/4</td> <td>南部小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>				依頼者	開催日	場所	種目	参加者数	向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	7/12	向小体育館	ドッチビー	58	福地小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	7/19	福地小体育館	ドッチビー	40	南部中学校3年生PTA (親子レクリエーション)	8/30	南部中グラウンド	グランドゴルフ	100	南部小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	10/4	南部小体育館	ドッチビー	34
	依頼者	開催日	場所	種目	参加者数																								
	向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	7/12	向小体育館	ドッチビー	58																								
	福地小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	7/19	福地小体育館	ドッチビー	40																								
	南部中学校3年生PTA (親子レクリエーション)	8/30	南部中グラウンド	グランドゴルフ	100																								
南部小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	10/4	南部小体育館	ドッチビー	34																									
成果	毎年、団体等の要望に沿って実施しており、広くニュースポーツが普及してきている。特に、学校における「親子レクリエーション」として活用されており、依頼者からの要望に対応できた。																												
評価と方向性	指導者が出向き、ニュースポーツを体験できるため、利用者には大変喜ばれている。現在、2種目の要望を受け実施しているが、別な種目(6種目)にも対応できるので、広報活動を行い、利用者の増加を図る。																												

転倒・寝たきり予防教室		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	町内 3 地区において、介護サービスを受けていない高齢者を対象とした 12 回の転倒予防プログラム（運動指導、栄養士の講話など）及び各種測定を実施した。高齢者の介護予防にもつながることから健康福祉課と共催している。		
実績	対象者	介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民	
	参加者数	南部地区：36 名（延べ 341 名） 福地地区：40 名（延べ 335 名） 名川地区：48 名（延べ 447 名）	
	開催回数	合計 36 回（12 回/1 地区）	
	開催期間 及び 会 場	【第 1 回】平成 27 年 5 月～7 月 会場：南部公民館（南部地区） 【第 2 回】平成 27 年 9 月～11 月 会場：福寿館（福地地区） 【第 3 回】平成 28 年 1 月～3 月 会場：名川 B&G 海洋センター（名川地区）	
	事業内容	介護予防運動、歩行指導、筋力トレーニング、ストレッチング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、カローリング）、各種講話（保健・栄養指導等）、骨密度・筋肉量計測	
	講 師	運動指導士 2 名、栄養士 1 名 計 3 名	
	事 業 費	104 千円（講師謝礼）	
	成果	今年度より、3 地区（南部・福地・名川）在住者限定での募集・実施を見直し、通年での参加を可能とし、全地区から募集したことで、例年に比べ参加者が大幅に増加した。また、参加者の半数以上が 1 地区 3 か月限定での参加にとどまらず、年間を通じた教室参加となったため、運動指導を長期間にわたって継続させることが出来た。	
評価と方向性	日々の生活に運動を取り入れ、体力・筋力を落とさず健康寿命を維持していく方法を学んでもらうことが目的であるため、運動メニュー等内容を充実させ、参加者の自主的な日常運動の継続を促していく。また、参加者が今後増加していくことを見据え、会場の変更や運営方法の改善を行うなど、状況に応じて事業拡充を図っていく。		

水に賢い子どもを育てる年間型活動プログラム		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	C
概要	夏に偏りがちな「水」に親しむ体験活動を、年間を通じて体験できるよう、自然環境、水生生物、安全学習、海洋性レクリエーション等のテーマから、導入校ごとにプログラムを選択し実施する。		
実績	対象者数	福 田 小 学 校 : 4 学 年 22 名 名 久 井 小 学 校 : 4 学 年 23 名 名 川 南 小 学 校 : 1・2 学 年 10 名 3・4 学 年 14 名 5・6 学 年 7 名 南 部 小 学 校 : 4 学 年 23 名	
	開催回数	福 田 小 学 校 : 5 回 名 久 井 小 学 校 : 7 回 名 川 南 小 学 校 : 9 回 南 部 小 学 校 : 1 回	
	開催期間	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月	
	開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・福 田 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール、小川原湖 (東北町 B & G 海洋センター艇庫) ・名 久 井 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B & G 海洋センタープール、小川原湖 (東北町 B & G 海洋センター艇庫) ・名 川 南 小 学 校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖 (東北町 B & G 海洋センター艇庫) ・南 部 小 学 校 如来堂川 	
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・さけ稚魚放流体験、さけ採卵体験、源流探検、水棲生物採取、釣り体験、空き缶炊飯体験、マリンキャンドルづくり、水辺の安全教室 (カヌー体験、着衣泳、ライフジャケット浮遊体験、他) 	
	事業費	18千円 (消耗品)	
成果	身近にある川や山といった屋外での体験的学習を通して環境保全意識の向上が図られた。グループごとに役割を持ちながら与えられた課題を達成していく中で、社会性が育まれるとともに、身近な環境について興味を抱くことで郷土への愛情を高めることができた。		
評価と方向性	現時点で、町内 4 校が当事業を導入しているが、現存のプログラム内容と回数を見直し、他の小学校にも導入可能な体制を検討する余地がある。各プログラムにおいて、参加児童の学習意欲は非常に高く、積極性の向上にもつながっているため、今後も改善を図りつつ事業を継続していく。		

B & G 全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業		事業の評価	○		
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B		
概要	全国の B & G 海洋センターにて日頃から水泳を練習している青少年を対象に、競技力の向上と参加者相互の連携と親睦を図ることを目的に開催される大会へ、青森県予選大会にて B & G 財団が定める標準記録を突破した当町代表選手 2 名を参加させた。当町海洋センター職員 1 名が選手に帯同し、青森県連絡協議会チームの一員として従事。				
実績	○ 開催日及び会場 8/17 東京辰巳国際水泳場				
	○ 事業費 45 千円 (旅費)				
	○ 結果 1 名入賞 (小学生男子 50m 背泳ぎ 8 位)				
	参加状況	学校名	学年	性別	参加人数
		名久井小学校	5	男	1 名
名川中学校		2	女	1 名	
合計			2 名		
成果	全国大会での町内選手の活躍が広報等で周知され、水泳競技の普及・振興の一助となった。				
評価と方向性	「スイマーの聖地」といわれる東京辰巳国際水泳場で、全国の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。				

社会教育課関係 (B & G) No.4 7

B & G スポーツ大会青森県大会推進事業		事業の評価	○		
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B		
概要	B & G 財団地域海洋センター青森県連絡協議会が主催する水泳大会に、町内児童生徒 13 名を参加させた。当町海洋センター職員 3 名が選手を引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事。				
実績	○ 開催日及び会場 8/4 六戸町 B & G 海洋センタープール				
	○ 事業費 14 千円 (補助金)				
	○ 結果 11 名入賞 (うち個人優勝 5 種目、メドレー・フリーリレー優勝 2 種目)				
	参加状況	学校名	学年	性別	参加人数
		福地小学校	3	男	1 名
			6	女	1 名
		杉沢小学校	4	男	1 名
		名久井小学校	5	男	1 名
			福田小学校	4	男
		福田小学校	6	女	3 名
			向小学校	5	女
		向小学校	6	男	1 名
			杉沢中学校	1	男
名川中学校		1	男	1 名	
		2	女	1 名	
合計			13 名		
成果	他市町村の選手と競い合いながら日々の練習の成果を発揮する機会となり、参加者自身の水泳競技を継続するうえでの自信となった。				
評価と方向性	他市町村の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。				

B&Gクリーンフェスティバルなんぶ		事業の評価	○																																				
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B																																				
概要	<p>水辺での活動の楽しさと水辺の環境保全の意識高揚のため、カヌー体験教室や水辺の安全教室を実施するとともに、クリーン作戦による環境保全活動を行う。 社会教育課が主催する「ふるさと楽習キャンプ」のプログラムの一つとして開催している。</p>																																						
実績	対象者	町内小学校4年生～6年生																																					
	参加者数	・17名の参加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福地小学校</td> <td>5</td> <td>女</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">福田小学校</td> <td rowspan="2">5</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">剣吉小学校</td> <td rowspan="2">6</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>名久井小学校</td> <td>5</td> <td>男</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>名川南小学校</td> <td>5</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>向小学校</td> <td>5</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>17名</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	学年	性別	参加人数	福地小学校	5	女	3名	福田小学校	5	男	1名	女	2名	剣吉小学校	6	女	1名	男	4名	名久井小学校	5	男	2名	名川南小学校	5	男	1名	向小学校	5	男	1名	合 計			17名
			学校名	学年	性別	参加人数																																	
			福地小学校	5	女	3名																																	
			福田小学校	5	男	1名																																	
					女	2名																																	
			剣吉小学校	6	女	1名																																	
男					4名																																		
名久井小学校			5	男	2名																																		
名川南小学校			5	男	1名																																		
向小学校	5	男	1名																																				
合 計			17名																																				
※今年度は4年生の参加は無し																																							
事業内容	カヌー体験、ライフジャケット浮遊体験、B&G海洋センター周辺の清掃活動																																						
開催日	7/28																																						
開催場所	名川B&G海洋センタープール 他																																						
事業費	— 円																																						
成果	<p>水辺の安全教室と併行して、参加者が普段利用する施設付近の清掃活動を行うことで、他人任せでなく自分たちで環境を保全していくという意識を高めることが出来た。</p>																																						
評価と方向性	<p>参加者に対し、環境保全の意識づけとともに水辺における自助意識の大切さを学ぶ機会を提供出来るので、今後も当事業を継続し青少年の健全育成に努めていく。</p>																																						

事業毎個別評価表

◀ 社会教育指導の方針と重点 ▶ 社会教育課関係 (B&G) No.49

小学校水泳教室		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	水や水泳をよく理解し、水泳に対する興味を持ってもらうとともに、泳力の向上を図るために、町内小学校から授業での水泳指導依頼があった場合に、B&G海洋センター職員が指導・助言などを行う。		
実績	対象者	名川南小学校：5・6年生	9名
		名久井小学校：全校生徒	202名
		剣吉小学校：全校生徒	111名
	開催回数	名川南小学校 全	9回
		名久井小学校 全	15回
		剣吉小学校 全	4回
開催期間	6月～8月		
開催場所	名川B&G海洋センタープール		
事業費	— 円		
成果	参加校の教諭と連携し、児童の泳力に応じて楽しめるような指導を行い、中高学年においてはクロールの息継ぎ習得やフォーム修正、低学年においては基本動作を取り入れたゲームをとおして水に親しむことが出来た。		
評価と方向性	町内小中学校から水泳指導の要請があった際には、担当教諭と連携し安全で楽しい水泳指導をとおして泳力の向上、児童の健康増進に努めていく。		

第2回南部町駅伝競走大会		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	1本のたすきを繋ぐことにより仲間との絆を深め、また、選手と応援する人の一体感、元気、感動を生み出し、地域の活性化を図る。		
実績	参加チーム	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内小学校 20チーム (向小4、名久井小2、南部小2、福田小5、剣吉小2、福地小2 名川南小1、岩手県山田町小学生チーム2※招待) ○ 三戸郡中学校 12チーム (名川中2、福地中3、三戸中2、五戸中2、南部中2、杉沢中1) ○ 町内クラブ・地区対抗 3チーム <p style="text-align: center;">合計 35チーム</p>	
	開催日	11/1	
	開催場所 及び コース概要	<ul style="list-style-type: none"> ○開催場所 すばーくながわ (スタート及びフィニッシュ) ○コース概要 ●町内小学校の部 及び 町内クラブ・地域対抗の部 全5区間、約11km ※1周2.2kmの周回コース ※女子指定区間は第1区及び第2区 ●三戸郡下中学校の部 全5区間、約14km ※1周2.8kmの周回コース 	
	事業費	408千円 (需用費等) ※参加料1チーム1,000円、計35,000円	
	結果	<ul style="list-style-type: none"> ●町内小学校の部 優勝：名久井小Aチーム ●三戸郡下中学校の部 優勝：名川中Aチーム ●町内クラブ・地域対抗の部 優勝：あけぼの走友会チーム 	
成果	陸上競技の普及と児童・生徒等の競技力向上が図れるとともに、団体競技の一体感を体験することにより、仲間意識の高揚が図られた。		
評価と方向性	小中学校等から毎年多くのチームが参加し、陸上競技を通じて切磋琢磨・交流の場となっている。また、以前より交流のある岩手県山田町より毎年駅伝チームを当町に招待しており、自治体間交流の重要なイベントとなっているため、今後も安全面などに配慮しながら、内容の充実と拡充を図っていく。		

第23回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業		事業の評価	◎																																																																																							
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																																																																							
概要	青森県民駅伝競走大会南部町実行委員会に対して補助金を交付し、町内中学生以上の候補選手を選考し、強化練習や試走等を実施した。																																																																																									
実績	平成27年4月28日に南部町実行委員会を組織してから大会まで、約50回の練習会と4回の試走会、2回のスタッフ会議を実施し、大会当日は、実行委員等計27名が選手をサポートした。																																																																																									
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加チーム数 40市町村 ○ 登録選手 15名 (男11名・女4名) ○ 候補選手 52名 (男36名・女16名) ○ 開催日 9/6 ○ 開催場所 青森市内 ○ 事業費 1,160千円 (実行委員会への町の補助金) ※うち県補助金: 60千円 ○ 成績 総合 第2位 (町の部 第1位) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>男 (名)</th> <th>女 (名)</th> <th>合計 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>福地中学校</td><td>7</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>杉沢中学校</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>名川中学校</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td></tr> <tr><td>南部中学校</td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>千葉学園高校</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>青森山田高校</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>八戸工業高等専門学校</td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>岩手県福岡高校</td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>八戸高校</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>名久井農業高校</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>日本体育女子大学</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>青森大学</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>国士舘大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>山梨学院大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>日本体育大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>亜細亜大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>武蔵野学院大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>はらだクリニック</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>駒澤大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>陸上競技協会</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>36</td><td>16</td><td>52</td></tr> </tbody> </table>		所属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)	福地中学校	7	1	8	杉沢中学校	1	1	2	名川中学校	6	6	12	南部中学校	2		2	千葉学園高校		1	1	青森山田高校	3	1	4	八戸工業高等専門学校	3		3	岩手県福岡高校	2		2	八戸高校		1	1	名久井農業高校	2	1	3	日本体育女子大学	1	1	2	青森大学		1	1	国士舘大学	1		1	山梨学院大学	1		1	日本体育大学	1		1	亜細亜大学	1		1	武蔵野学院大学	1		1	はらだクリニック		1	1	駒澤大学	1		1	陸上競技協会	3	1	4	合計	36	16
所属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)																																																																																							
福地中学校	7	1	8																																																																																							
杉沢中学校	1	1	2																																																																																							
名川中学校	6	6	12																																																																																							
南部中学校	2		2																																																																																							
千葉学園高校		1	1																																																																																							
青森山田高校	3	1	4																																																																																							
八戸工業高等専門学校	3		3																																																																																							
岩手県福岡高校	2		2																																																																																							
八戸高校		1	1																																																																																							
名久井農業高校	2	1	3																																																																																							
日本体育女子大学	1	1	2																																																																																							
青森大学		1	1																																																																																							
国士舘大学	1		1																																																																																							
山梨学院大学	1		1																																																																																							
日本体育大学	1		1																																																																																							
亜細亜大学	1		1																																																																																							
武蔵野学院大学	1		1																																																																																							
はらだクリニック		1	1																																																																																							
駒澤大学	1		1																																																																																							
陸上競技協会	3	1	4																																																																																							
合計	36	16	52																																																																																							
成果	陸上競技の普及と選手のレベルアップのほか、町民の一体感を盛り上げ、町勢の発展とスポーツの振興が図られた。																																																																																									
評価と方向性	県内全市町村が参加し、中学生から一般までを対象とした歴史のある大会であるため、陸上競技の普及・振興につながっている。また、県民及び町民の関心も高く、今後の当町陸上競技の発展と、競技者の技術向上・士気高揚を図るため、今後も事業の充実を図っていく。																																																																																									

第31回うぐいすマラソン大会		事業の評価	◎																																																													
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B																																																													
概要	健康増進と参加者相互の親睦と融和を図るため開催 男女各 3km,5km,10km のコースで体力に応じた種目別区分を設定 町広報誌と町ホームページにて大会開催を周知																																																															
実績	○ 対象者 健康で、所定の距離を完走できる者 ○ 申込者数 841名 (平成26年度 754名) ○ 参加者数 707名 (平成26年度 629名) うち町民参加者数 249名 ○ 開催日 4/19 ○ 開催場所 ふくち運動公園多目的広場 ○ 事業費 470千円 ○ 参加料 無料																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>申込者 (名)</th> <th>参加者 (名)</th> <th>うち町民 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 小学校3年生以下男子 3km</td> <td>48</td> <td>43</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>B 小学校3年生以下女子 3km</td> <td>44</td> <td>38</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>C 小学校4～6年生男子 3km</td> <td>73</td> <td>64</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>D 小学校4～6年生女子 3km</td> <td>52</td> <td>47</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>E 中学生男子 3km</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>F 中学生女子 3km</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>G 高校・一般男子 3km</td> <td>39</td> <td>30</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H 高校・一般女子 3km</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>I 高校・一般男子 5km</td> <td>82</td> <td>67</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>J 高校・一般女子 5km</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>K 高校・一般男子 10km</td> <td>264</td> <td>208</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>L 高校・一般女子 10km</td> <td>49</td> <td>40</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>M 誰でも参加 (計測なし) 3km</td> <td>95</td> <td>92</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>841</td> <td>707</td> <td>249</td> </tr> </tbody> </table>				コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)	A 小学校3年生以下男子 3km	48	43	30	B 小学校3年生以下女子 3km	44	38	30	C 小学校4～6年生男子 3km	73	64	49	D 小学校4～6年生女子 3km	52	47	26	E 中学生男子 3km	34	32	28	F 中学生女子 3km	16	12	8	G 高校・一般男子 3km	39	30	10	H 高校・一般女子 3km	17	10	5	I 高校・一般男子 5km	82	67	2	J 高校・一般女子 5km	28	24	2	K 高校・一般男子 10km	264	208	16	L 高校・一般女子 10km	49	40	0	M 誰でも参加 (計測なし) 3km	95	92	43	計	841	707	249
	コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)																																																												
	A 小学校3年生以下男子 3km	48	43	30																																																												
	B 小学校3年生以下女子 3km	44	38	30																																																												
	C 小学校4～6年生男子 3km	73	64	49																																																												
	D 小学校4～6年生女子 3km	52	47	26																																																												
	E 中学生男子 3km	34	32	28																																																												
	F 中学生女子 3km	16	12	8																																																												
	G 高校・一般男子 3km	39	30	10																																																												
	H 高校・一般女子 3km	17	10	5																																																												
	I 高校・一般男子 5km	82	67	2																																																												
	J 高校・一般女子 5km	28	24	2																																																												
	K 高校・一般男子 10km	264	208	16																																																												
	L 高校・一般女子 10km	49	40	0																																																												
M 誰でも参加 (計測なし) 3km	95	92	43																																																													
計	841	707	249																																																													
成果	三八地域のみならず県内外の市町村から多くの参加があり、当町のPRになるとともに、町民と他市町村選手の交流、陸上競技振興の一助となった。																																																															
評価と方向性	町内外から多くのマラソンランナーが参加する社会体育事業唯一のマラソン大会であり、今後も安全面に配慮し内容を改善していきながら継続していく。																																																															

より安全、安心のおいしい給食を目指します。		事業の評価	◎
		総合評価	B
概要	安全・安心な給食供給するため、国内産食材の使用と作業工程表にそった調理方法を徹底させた。		
実績	作業動線図と作業工程表の作成を行い、それにそった調理を行うことにより安全な給食を供給することができた。 月に1回、南部町産の野菜の放射性物質測定検査を行い、安全な食材を使用した給食を供給することができた。		
成果	調理作業においては、食材の流れを一方通行させることによる不純物等の混入を防止し安全で安心な給食の供給ができた。		
評価と方向性	学校給食衛生管理基準及び大量調理衛生管理マニュアル等を遵守した調理作業を行う。又、国内産食材を使用することにより「安全・安心な給食」の供給に努める。		

給食センター関係 No.54

栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかります。		事業の評価	◎
		総合評価	B
概要	栄養士が、各校へ出向いて給食指導、食育授業及び健康面談を行っている。又、研修会、講習会及び共同購入会議に出席し献立内容の向上をはかった。		
実績	給食センター見学への対応	町内小学校：6回	
	食育授業による栄養指導	町内小学校8校：21回	
	健康面談	町内中学校2校：4回	
	就学時児童への給食説明会及び試食会	町内保育園 3施設：2回	
	バイキング式給食	町内小中学校11校・幼稚園1園：15回	
	栄養士の共同購入選定会議	郡内開催 年6回	
	栄養士の研修会・講習会	県内開催 年9回	
成果	食物を体内に取り入れることが身体にどのような影響を与えるかを指導することにより、身体を支えるためにどのような食物をバランス良く取り入れることが大切であるかを指導できた。		
評価と方向性	給食指導をとおして、朝、昼、晩の食事をしっかり摂ること、おやつ等の間食が身体に与える影響についての知識を知らせることにより、偏食をなくしバランスのとれた食事をとることの大切さの指導の継続に努める。		

手作りの給食を心がけます。		事業の評価	◎
		総合評価	B
概要	食材の切り方や盛り付け後の配色に工夫を凝らし可能な限り手作り感のある給食にしている。		
実績	<p>食欲が増すような彩りや、素材そのものの味を引き出せるような調理の工夫に努めた。</p> <p>野菜を生状態で供給できる「微酸性電解水生成装置」を活用し、生野菜を取り入れた給食の供給を行った。</p> <p>苦手な野菜も摂取するように、「夏野菜カレー・野菜のバターソテー」、芋類を使用した「ジャガイモのそぼろ煮」などの工夫を凝らした調理を行った。</p>		
成果	生野菜を使用することにより食材のもつ本来の色や味を重視した調理や、食材を調理機器ではなく手で切るなど工夫をして、手作り感のある給食を供給できた。		
評価と方向性	温めるだけで食べられる出来合いの食品が大量に販売されている現代において、手作り感のある給食を供給することにより、家庭で調理をしてくれている保護者への感謝の心を育てよう努める。		

給食センター関係 No.56

伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。		事業の評価	◎				
		総合評価	B				
概要	伝え継がれてきた郷土食に、旬の食材を取り入れて季節感をもたせた給食を供給している。						
実績	<p>食育月間（6月・11月）には、季節にあわせた郷土食を取り入れた給食の供給に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">伝統食</td> <td>せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁</td> </tr> <tr> <td>郷土食</td> <td>南蛮みそ・^{うま}味のほね・さくらんぼ・りんご・ゼネラルレクラークジュレ</td> </tr> </table> <p>※地元で食べ継がれてきた料理と給食センターでの調理工程に相違はあるが、できるだけ郷土料理に近づけた調理をして給食の供給をした。又、南部町の特産品を使用した調理を郷土食として供給した。</p>			伝統食	せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁	郷土食	南蛮みそ・ ^{うま} 味のほね・さくらんぼ・りんご・ゼネラルレクラークジュレ
伝統食	せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁						
郷土食	南蛮みそ・ ^{うま} 味のほね・さくらんぼ・りんご・ゼネラルレクラークジュレ						
成果	旬や節の行事にちなんだ食材を取り入れての給食を供給することによって、食を通し季節を感じさせるとともに、日本食文化の奥深さを体験させることができた。						
評価と方向性	和食が見直されている現在、季節感と風土を重視した献立の給食を取り入れ、児童生徒が日本食文化の良さに気づくよう工夫する。						

地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。		事業の評価	◎
		総合評価	B
概要	地元の産物を活用した給食を供給することにより、地元農業への理解を深める。		
実績	<p>食育指導や給食時間での放送により地元産食材の使用の大切さへの理解につながるよう指導した。また、個々に配布している「給食だより」を利用し、児童・生徒へ地元産の食材の活用を周知させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米穀は南部町（福地）産「つがるロマン」100%使用 ・南部町産の食材の使用率 20.67% ・青森県産の食材の使用率 51.01% ・国内産の食材の使用率 24.68% ・その他（輸入品等）の食材の使用率 3.64% 		
成果	給食時間に地元産食材の使用について放送し、又、児童生徒へ「給食だより」を配布して子ども達とともに保護者へも地域農業への理解と感謝の心を育てるとともに、地元産の米穀・野菜・果物の消費が図られた。		
評価と方向性	季節により野菜の値に変動が激しい。町内にある産直会の方々の協力により南部町産の食材を比較的安価に仕入れることができるが給食供給数に必要な量の確保に課題がある。地元農家の方々への周知拡大を図り、多くの方々からの協力が得られるようにする。		

教育委員会活動の状況

1 教育委員会委員構成

職名	氏名	任期期間
教育委員長	境久孝	H22.4.5 ~ H30.4.4 (H26.4.5 ~ H27.4.4)
教育委員長職務代行者	佐藤俊男	H22.4.5 ~ H30.4.4 (H26.4.5 ~ H27.4.4)
委員	宮本佳悦	H18.3.16 ~ H29.3.15
委員	西舘たか	H27.3.16 ~ H31.3.15
教育長	山田義雄	H24.4.1 ~ H28.3.31

* 括弧は、委員長・職務代行者任期

2 教育委員会の活動概要

(1) 学校訪問

学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握する

小学校 4校、中学校 2校の学校訪問を実施

訪問月日	訪問校
H27年9月16日	名川南小学校、剣吉小学校
H27年10月21日	福地中学校、福田小学校
H27年11月18日	向小学校、名川中学校

(2) 会議・研修会

* 研修会等に参加し、委員としての幅広い見識(識見)を養う

開催月日	会議・研修会名	出張先	出席者数
7月10日	平成27年度東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会	青森市	4人
7月16日 ~17日	三戸郡教育振興会教育委員研修会	宮城県仙台市	3人
10月23日	郡教育委員秋季研修会	三戸町	4人

(3)各種行事・大会等

* その他、下記の各種行事・大会に参加

開催月日	行事・大会名	開催月日	行事・大会名
4月7日	杉沢小学校入学式	10月4日	名川幼稚園運動会
4月7日	名川中学校入学式	10月10日	剣吉小学校学芸発表会
4月7日	向小学校入学式	10月17日	杉沢小学校学芸発表会
4月7日	南部小学校入学式	10月17日	福地小学校学芸発表会
4月7日	杉沢中学校入学式	10月18日	名川中学校文化祭
4月7日	南部中学校入学式	10月18日	南部中学校文化祭
4月7日	福地小学校入学式	10月18日	杉沢中学校文化祭
4月7日	福田小学校入学式	10月18日	福地中学校文化祭
4月7日	剣吉小学校入学式	10月23日	福田小学校学芸発表会
4月7日	名久井小学校入学式	10月23日	南部小学校学芸発表会
4月7日	名川南小学校入学式	10月25日	向小学校学芸発表会
4月7日	福地中学校入学式	11月4日	剣吉小140周年記念事業
4月8日	名川幼稚園入園式	11月6日	名川幼稚園おゆうぎ会
4月19日	うぐいすマラソン大会	11月7日	名川南小学校10周年記念事業
4月23日	南部町教育大会	12月4日	南部町中学生海外派遣事業報告会
5月17日	名川中学校体育祭	12月12日	名久井小学校学芸発表会
5月17日	南部中学校体育祭	1月10日	南部町成人式
5月23日	杉沢小・中学校区合同運動会	2月13日	町文化賞・スポーツ賞授与式
5月23日	向小学校運動会	2月25日	郡教育振興会定期総会
5月23日	福地小学校運動会	3月12日	名川中学校卒業式
5月23日	剣吉小学校運動会	3月12日	福地中学校卒業式
5月23日	向小学校運動会	3月12日	南部中学校卒業式
5月24日	南部小学校運動会	3月12日	杉沢中学校卒業式
5月24日	福田小学校運動会	3月17日	名川幼稚園卒園式
5月24日	名久井小学校運動会	3月18日	名久井小学校卒業式
5月24日	名川南小学校運動会	3月18日	福地小学校卒業式
6月19日	町小学校陸上競技記録会	3月18日	福田小学校卒業式
6月20日	三戸郡中学校体育大会開会式	3月18日	杉沢小学校卒業式
8月30日	福地中学校体育祭	3月18日	剣吉小学校卒業式
9月27日	南部七唄・七踊り全国大会	3月18日	向小学校卒業式
		3月18日	南部小学校卒業式
		3月19日	名川南小学校卒業式

3 教育委員会会議

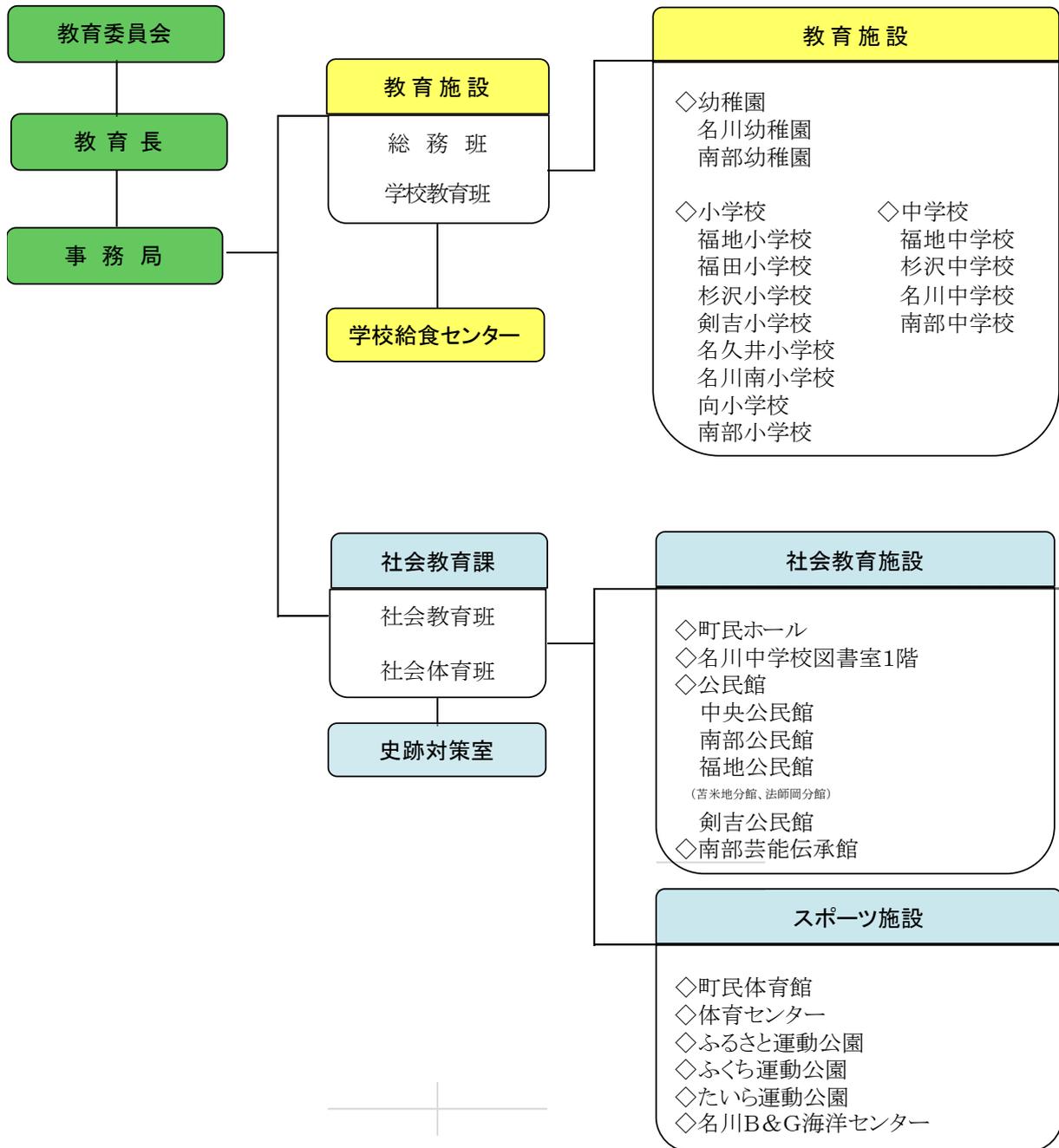
月1回開催の定例会

開催日	会議	議案番号等	案 件
H27年4月15日	第119回	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成26.27年度通学区域外就学の承認について 平成26.27年度区域外就学の承諾について 南部町教育委員会事務局職員の人事異動について 平成26年度スクールサポーターの委嘱について
H27年5月20日	第120回	報告第6号 報告第7号 報告第8号 報告第9号 報告第10号 報告第11号 報告第12号 議案第1号 議案第2号 議案第3号	平成27年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成27年度通学区域外就学の承認について 平成27年度区域外就学の承諾について 南部町教育支援委員会委員の委嘱について 南部町社会教育委員の委嘱について 南部町文化財審議委員の任命について 南部町スポーツ推進委員の委嘱について 南部町立幼稚園設置条例を廃止する条例の制定について 財産の無償貸付について 南部町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
H27年6月17日	第121回	報告第13号 報告第14号 議案第4号	平成27年度区域外就学の承諾について 平成26・27年度南部町教育関係補正予算について 平成27年度南部町奨学金の貸付けについて
H27年7月15日	第122回	報告第15号 報告第16号	平成27年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 南部町スクールサポーターの委嘱について
H27年8月19日	第123回	報告第17号 報告第18号 報告第19号 報告第20号 報告第21号	平成27年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について 平成27年度区域外就学の承諾について 外国語指導員の再任用について 教育財産の取得について
H27年9月16日	第124回	報告第22号 報告第23号 報告第24号 報告第25号 報告第26号 議案第5号	平成26年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について 平成26年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について 平成27年度南部町教育関係補正予算について 平成27年度区域外就学の承諾について 学校評議員の委嘱について 文化財の指定の解除について
H27年10月21日	第125回	報告第27号 報告第28号 報告第29号 議案第6号	平成27年度要保護児童生徒のについて 平成27年度区域外就学の承諾について 平成27年度教育支援委員会の判定について 南部町文化賞・南部町スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について
H27年11月18日	第126回	報告第30号 報告第31号 議案第7号	平成27年度要保護児童生徒の認定について 平成27年度区域外就学の承諾について 南部町教育委員会の事務点検及び評価報告書【H26年度実績】について
H27年12月18日	第127回	報告第32号 報告第33号 報告第34号 報告第35号	平成27年度区域外就学の承諾について 平成27年度通学区域外就学の承諾について 平成27年度南部町教育支援委員会の判定について 平成27年度南部町教育関係補正予算について
H28年1月20日	第128回	報告第36号 報告第37号 報告第38号 議案第8号	平成27年度区域外就学の承諾について 平成27年度通学区域外就学の承諾について 特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について 平成27年度南部町文化賞・スポーツ賞表彰者について
H28年2月17日	第129回	報告第39号 報告第40号 報告第41号 議案第9号	平成27年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成27年度区域外就学の承諾について 平成27年度通学区域外就学の承諾について 南部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

開催日	会議	議案番号等	案 件
H28年3月16日	第130回	報告第42号 報告第43号 報告第44号 報告第45号 報告第46号 報告第47号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号	平成27年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成27年度区域外就学の承諾について 平成27年度通学区域外就学の承諾について 平成27年度南部町教育関係補正予算（第4号）について 平成28年度南部町教育関係当初予算について 平成28年度南部町学校給食センター特別会計当初予算について 南部町教育委員会の事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会の事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会教育長事務委任規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会事務局職員等の職名に関する規則の一部を改正する規則の制定について 南部町立学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 南部町立幼稚園の管理運営に関する規則を廃止する規則の制定について 南部町教育委員会教育長職務代行者の事務委任規則の制定について 南部町教育委員会事務専決代決規則の一部を改正する訓令の制定について 南部町教育委員会文書公印規程の一部を改正する訓令の制定について 南部町子育て支援学校給食費給付金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について 南部町私立幼稚園教育振興事業補助金交付要綱を廃止する訓令の制定について 平成28年度南部町教育方針について 平成28年度南部町教育大会について 県費負担教職員の人事異動について 南部町教育委員会事務局の人事異動について

教育委員会事務局の組織の状況

1 教育委員会機構図



2 教育委員会事務分掌

● 学務課

【総務班】

教育委員会の会議に関すること。
教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること。
公印の保管に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
教育予算の編成及び執行に関すること。
県費負担職員の任免その他人事に関すること。
学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
教育財産の管理に関すること。
教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関すること。
県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関すること。
他の班の所掌に属しない事務に関すること。

【学校教育班】

校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
学校施設台帳の整備保管に関すること。
教育内容及びその取扱いに関すること。
教科用図書の採択並びに給与に関すること。
学習効果の評価に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員の研修に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関すること。
学校給食に関すること。
児童及び生徒の就学に関すること。
学校保健に関すること。
学校図書館に関すること。
義務教育費国庫負担事務に関すること。
学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。
幼稚園に関すること。
児童及び生徒の交流に関すること。
奨学金に関すること。
その他学校教育に関すること。

● 社会教育課

【社会教育班】

公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。
各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。

社会教育関係団体の指導育成に関すること。
社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。
文化財の保護に関すること。
郷土芸能の伝承に関すること。
社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。
ユネスコ活動に関すること。
コミュニティーに関すること。
ボランティアに関すること。
青少年教育に関すること。
青少年健全育成に関すること。
家庭教育に関すること。
婦人教育に関すること。
男女共同参画事業に関すること。
生涯学習推進事業に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
その他社会教育に関すること。

【社会体育班】

体育・スポーツの振興に関すること。
スポーツ推進委員に関すること。
体育関係団体の指導育成に関すること。
体育施設の管理運営及び整備に関すること。
運動公園の管理運営及び整備に関すること。
町民運動会に関すること。
スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。
その他社会体育に関すること。

【史跡対策室】

南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。
南部氏史跡整備検討委員会に関すること。
国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。
南部氏史跡の公有化に関すること。
南部氏史跡発掘調査に関すること。
南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。
南部氏史跡整備及び活用に関すること。
南部氏史跡の周知に関すること。
南部氏の文献調査及び研究に関すること。
南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

3 教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
教育費	教育総務費	教育委員会費	971	758	949	862	1,049	828
		事務局費	501,179	157,796	193,774	151,533	160,065	146,402
		小計	502,150	158,554	194,723	152,395	161,114	147,230
	小学校費	学校管理費	77,628	85,901	79,726	97,366	82,497	250,356
		教育振興費	22,653	30,977	20,018	19,864	19,534	15,060
		小計	100,281	116,878	99,744	117,230	102,031	265,416
	中学校費	学校管理費	47,407	46,349	56,201	70,772	54,654	58,725
		教育振興費	17,921	17,671	18,851	17,710	18,496	12,929
		小計	65,328	64,020	75,052	88,482	73,150	71,654
	幼稚園費	幼稚園管理費	45,589	45,285	32,767	32,516	17,860	20,366
		教育振興費	5,900	5,026	5,051	5,647	6,515	41,780
		小計	51,489	50,311	37,818	38,163	24,375	62,146
	社会教育費	社会教育総務費	81,838	70,400	69,386	67,398	67,981	56,807
		公民館費	29,325	22,656	31,735	43,285	42,810	58,286
		社会教育施設費	11,921	10,765	11,758	12,601	12,481	12,659
		文化財保護費	77,393	28,839	16,990	32,660	47,933	28,379
		小計	200,477	132,660	129,869	155,944	171,205	156,131
	保健体育費	保健体育総務費	65,635	56,734	56,849	49,287	53,636	52,086
		保健体育施設費	41,314	72,181	76,631	51,925	39,842	66,653
保健体育施設整備費		26,154	—	—	—	—	—	
小計		133,103	128,915	133,480	101,212	93,478	118,739	
給食センター費	給食センター費	102,442	103,825	104,574	94,609	141,737	95,062	
	小計	102,442	103,825	104,574	94,609	141,737	95,062	
	合計	1,155,270	755,163	775,260	748,035	767,090	916,378	
	対前年比	0.62	0.61	1.02	0.93	1.03	1.19	

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福地小学校

校長 油 布 一 之

活動名称 (テーマ)	共に学び、かかわり合いながら、豊かな心と夢をはぐくむ福地っ子プラン
事業の効果	<p>1 地域とのかかわりをよりどころとした体験的・協力的・参加的な学習を通して、特色ある教育活動（人権教育の推進・「少年消防クラブ」活動・異年齢集団の交流）の充実を図り、豊かな心や夢をはぐくむことができた。</p> <p>2 米作り体験、野菜作り体験、昔の遊び体験、茶道体験などの様々な体験を通して、総合的な学習の時間（わくわくタイム）の充実を図り、地域に進んで関わろうとする気持ちが育った。</p>
実施月日	実 施 内 容
<p>6月1日</p> <p>2月6日</p> <p>9月9日</p> <p>1月7日</p>	<p>1 特色ある教育活動</p> <p>(1)人権教育の推進（ふるさとを考える体験活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼアート田植え体験（全校） ・えんぶり鑑賞会及び学習会（全校） <p>(2)「少年消防クラブ」活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名川秋まつり防火パレード（4～6年） ・南部町消防団出初式分列行進参加（4～6年） <p>(3)縦割り班による集会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕集会（7月7日） ・デジカメ探偵団集会（11月2日） ・豆まき集会（2月3日）
<p>4月22日</p> <p>6月5日</p> <p>10月20日</p> <p>11月14日</p> <p>5月18日</p> <p>12月8日</p> <p>6月8日 ～11月16日</p>	<p>2 総合的な学習の時間「わくわくタイム」における体験活動の充実</p> <p>(1)米作り体験「福地のお米を自慢しよう」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏堀さんの作業小屋で育苗体験 ・夏堀さんを招いて田植え体験 ・稲刈り・脱穀・精米体験 ・福地特産品祭りにて販売体験 <p>(2)野菜作り体験「野菜作り名人になろう」（1年～4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の野菜作り名人を招いて、夏野菜（とうもろこし・ピーマン・なす・サツマイモ・ミニトマト・オクラ・セロリ・大豆・ゴーヤ）植え体験 <p>(3)伝統遊びの会「おとしよりとあそぼう」（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの人を招いて、伝統遊びの会（わらない・竹馬・一輪車） <p>子どもの頃のお話会を兼ねた給食会</p> <p>(4)日本文化体験「茶道に親しもう」6回（全学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松尾宗諭さんを招いて、茶道体験教室

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福田小学校

校長 三 浦 勉

活動名称 (テーマ)	福田小学校「特色ある学校経営事業」
事業の効果	確かな学力の定着と、心身ともに健康な体づくりのために、「知・徳・体」の3つの観点から課題を明らかにし、その解決に向けて組織的・計画的に実践に取り組むことによって、意欲的で自立した子どもの育成を図ることができた。
実施月日	実 施 内 容
2月	〈学び方を身につけて進んで学習に取り組む子の育成〉 ①八幡馬づくり ・3学年総合的な学習の時間に八幡馬制作に取り組むことで、郷土の伝統工業を学ぶことができた。
2月	②えんぶり「えぼし」づくり ・4学年総合的な学習の時間にえんぶりの「えぼし」制作に取り組むことで郷土の伝統工芸と伝統行事を学ぶことができた。
6月～10月	③バケツ稲作り ・5学年の総合的な学習の時間の学習で、バケツ稲を育てることで、児童は米作りの工夫と苦勞を学ぶことができた。
6月～2月	④超短焦点プロジェクター ・パソコンソフトで作成した資料等を短距離でスクリーンに提示することができ、相手に分かりやすく伝えることができた。(算数の授業、委員会発表、総合的な学習などで使用)
6月～2月	⑤水筆書き方指導板 ・水で書くだけで黒く発色し、スチール黒板に貼り付けて掲示できるので、書写の毛筆指導で手本を見せたり、練習させたりするのに効果的であった。
6月～2月	〈心の豊かな子・やさしく思いやりのある子〉 ⑥一人一鉢 ・1～6学年の児童一人一人が種から花を育て卒業式、入学式に向けて世話をすることによって、植物を大切にすると感謝の心を育てることができた。
8月～10月	⑦交通安全マスコット作戦用材料 ・JRC活動の一環として、交通安全マスコット作戦に向けてマスコットを作ってドライバーに配付することにより、奉仕の心を育てることができた。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立杉沢小学校

校長 横 田 英 穂

活動名称 (テーマ)	豊かな心、たくましい心を育てる教育活動
事業の効果	<p>(1) 読書活動をとおして、豊かな心を育む。 ・朝読書、読み聞かせをとおして、いろいろな本に出会い、本の楽しさを知ることができた。想像力を豊かにし、感性をみがくことができた。</p> <p>(2) 体験活動をとおして、自然やふるさとを大切に思う心を育む。 ・学校畑・学校田での農作業を通して、働くことのたいへんさ、自然の恵みへの感謝の気持ちをもつことができた。 ・保護者、地域の方々との交流(収穫祭・ふれあい活動・学校田での活動など)を通して、自分たちが見守られていることに気付き・感謝の気持ちをもつことができた。</p> <p>(3) 学習環境を充実させ、意欲を持たせる。 ・自らの考えを進んで発表したり、自分の仕事に意欲的に取り組んだりすることができた。</p>
実施月日	実 施 内 容
4月～12月 5月～11月 通年	<p>(1) 読書活動の推進 ① ボランティア(なんぶ読み聞かせの会)による読み聞かせ活動 火曜日の朝 8:00～8:10 12回実施 ② 推薦図書の奨励 学年別推薦図書の奨励</p> <p>(2) 体験活動の充実 ① 学校農園での栽培活動の実施 学級毎に作物を育てた。学校全員でサツマイモを育てた。 ② 学校田での栽培活動の実施 田植え、稲刈り、脱穀を行った。 ③ 栽培した作物を使っての収穫祭・調理の実施 収穫した米で保護者・地域の方と餅つきをしたり、昔の遊びを楽しんだりした。サツマイモを使って焼き芋集会を行った。</p> <p>(3) 学習環境の整備 ① 実物投影機等を使った授業 ② 給食用黒板を使った委員会の発表</p>

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立剣吉小学校

校長 中 村 大 安

活動名称 (テーマ)	児童の感性・個性をみがき、伸ばし、自己実現を支援する活動の推進
事業の効果	<p>1 授業の展開においてプロジェクター（ICT）を工夫して活用することにより、児童を授業に集中させたり、友達の考え方の理解を深めさせたりすることができた。その結果、児童一人一人が学習課題に対して深く考えたり、自分の発表する姿勢に積極性が見られるようになり、一斉指導の中で、学習児童の学習意欲の高まりを感じることができた。</p> <p>今後もプロジェクターを授業や教育活動で活用し、一斉授業の中で、児童一人一人が分かる授業の展開と学習内容の定着に努めていきたい。</p> <p>2 長坂下環境保全隊の方々や名久井農業高等学校の生徒の皆さんと、農業体験活動や環境美化運動を通じて交流したことにより、地域の人々とのふれあいやコミュニケーションを深めることができた。また、児童の自然への興味関心が高まり、豊かな心の育成へと発展していった。</p> <p>3 相撲のまわし締めの手順について講師を招き、実際に学ぶことができ、保護者の協力のもと、相撲大会を円滑に運営することができた。</p>
実施月日	実 施 内 容
5月26日 6月9日 6月12日 8月28日 9月2日 9月17日 9月25日 10月23日 12月14日 年間	5年生と長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（田植え） 3年生と名久井農業高等学校生徒との花植え（地域花いっぱい運動） 4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（摘果） 三戸郡よい歯の審査会 まわし締め講習会（講師：神代寿仁氏） 4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（シール貼り） 5年生と長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（稲刈り） 4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（収穫とまとめ） 5年生と長坂下環境保全隊の方々との収穫感謝祭 プロジェクターの活用による授業改善と実践

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立名久井小学校

校長 塩谷 政 巳

活動名称 (テーマ)	自ら学び、自ら考え、主体的・協同的に取り組む能力と態度の育成
事業の効果	<p>○教育目標具現のための体験的活動への支援と環境整備の推進が図られた。</p> <p>①生活科、理科、総合的な学習の時間による農園活動では、南部町の主力産業である農業について考えたり体験したりすることができた。</p> <p>②地域の素材（施設・郷土料理）を生かして、見学や体験を通して、地域のよさを知り、ふるさとの愛着を増すことができた。</p> <p>③相撲大会を通じて、伝統と礼儀を重んじ日本古来の武道にふれることができた。</p> <p>○エネルギー環境教育を通して環境に対して意識を高揚させ、環境を保全しようとする気持ちを持たせることができた。</p> <p>○校内にサイエンスワークショップコーナーを設置し、日常的な科学体験活動を通して追求活動への意欲づけを図ることができた。</p>
実施月日	実 施 内 容
5月～12月 (通年)	<p>○ふるさと学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農園活動；野菜を育てよう<1～6年、あじさいさくらんぼ学級> (ジャガイモ、さつまいも、ゴーヤ、ミニトマト、ヘチマ、大根、ねぎ等) ・目指せ食キング！<3年>（せんべい汁、ひつつみ、かつげ、豆しとぎ、なべっこだんごの味噌汁） ・如来堂川のなぞを探る<4年> (源流さがし、水生生物の調査、鮭の採卵・人工授精・卵の飼育) ・相撲大会を成功させよう<全校> (まわしかけ講習会、学年別個人戦男子の部・女子の部) ・南部手踊りを発表しよう<手踊りクラブ>（学習発表会） ・リンゴ栽培体験<5年>（受粉、摘果、収穫）～名久井農業高校の協力得て ・聖寿寺館跡発掘体験、名久井岳登山（雨天のため坐禅体験に変更<6年>） ・花を育てよう～チューリップ、マリーゴールド、サルビア
7月～1月 (通年)	<p>○エネルギー環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境授業 <ul style="list-style-type: none"> 1年～ものを大切にしてゴミをへらそう 3年～環境にやさしい買い物のしかたを考えよう 5年～発電のしくみ 5年～太陽光発電所の見学 6年～地球温暖化から省エネを考えよう 「省エネゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり体験学習 2年～「廃油からろうそくを作ろう」 3、4年～「タワッチ君作り」 ・「エネルギーを考える日」1月21日実施 (1～4年：生活の中の電気、5・6年：手作りカイロの作製) ・サイエンスワークショップコーナーの設置～科学体験活動

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立名川南小学校

校長 秋山 政子

活動名称 (テーマ)	地域の特性を生かした体験活動の推進
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人クラブの方々や保護者の方々から田植えや稲刈りの仕方を教えていただきながら米を育てる活動を通して、自分たちの住む地域との結びつきを感じることができ、自らが地域の一員であることを実感することができた。 ・自分たちが育てた稲を定期的に観察する活動を通して、植物の生長に関心をもつ児童が増えた。 ・「もちつき・そば打ち会」を行うことで、収穫できた喜びや自然に感謝する気持ちを養うことができた。
実施月日	実施内容
<p>5月26日</p> <p>6月16日</p> <p>7月15日</p> <p>9月24日</p> <p>10月13日</p> <p>11月13日</p> <p>12月6日</p>	<p>【田植え】 ・鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々3名、及び保護者の方々10名に指導・支援していただきながら、全校児童がもち米の苗を植えた。</p> <p>【稲の観察】 ①全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。</p> <p>【稲の観察】 ②全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。</p> <p>【稲の観察】 ③全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。</p> <p>【稲刈り】 ・鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々6名、及び保護者の方々6名に指導・支援していただきながら、全校で収穫した。</p> <p>【脱穀】 ・天日干しした米を、児童が足踏み脱穀機などを使い、昔の道具の学習もしながら、脱穀作業を行った。</p> <p>【もちつき・そば打ち会】 ・地域の方々、来賓の方々を招待し、収穫祭を行った。児童も合わせて100名以上の方々が集い、楽しく交流を行った。</p>

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立向小学校

校長 小笠原 賢 治

活動名称 (テーマ)	一人一人の子どもを生かす学校づくり
事業の効果	<p>1 様々な学習活動において、自分の考えをもち、相手の考えと比べながら、わかりやすく伝えようとする意識が高まってきた。</p> <p>2 地域の指導者からナニヤドヤラを学ぶことによって、伝統文化を継承しようとする態度が育ってきた。</p> <p>3 農作業体験を通して、勤労の尊さを感じながら、自然を大切にしていこうとする態度が育ってきた。</p>
実施月日	実 施 内 容
5月	<p>わかば学級・あゆみ学級「野菜を育てよう」</p> <p>1・2年生生活科「ミニトマト・サツマイモを植えよう」</p> <p>3年生総合的な学習「枝豆・キャベツを育てよう」</p> <p>4年生理科「ヘチマを植えよう」</p> <p>1年生生活科「朝顔を植えよう」(鉢用の土)</p>
6月～3月	あゆみ学級のクールダウンに活用 (ドリーミングスペース)
6月15日 ～7月1日	<p>全学年「ナニヤドヤラ学習」</p> <p>(指導者：中村サヨ氏、沖田勝裕氏、工藤裕章氏、工藤恵之助氏、留目健樹氏)</p>
7月1日	<p>全学年「ナニヤドヤラコンクール」</p> <p>(優賞メダル、敢闘賞メダル)</p>
7月～3月	音楽・学習発表会に活用 (ツリーチャイム)
6月～3月	<p>各教科、領域での発表学習、学力向上実践事業に活用</p> <p>(インタラクティブ書画カメラ・プロジェクター・マグネットスクリーン)</p>
11月上旬	<p>1年生生活科「チューリップの球根を植えよう」</p> <p>環境委員会「花壇を整備しよう」(球根 82個)</p>

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立南部小学校

校長 道 端 仁

活動名称 (テーマ)	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくりの活動
事業の効果	<p>1 多くの自然、地域、人と関わる多様な体験活動を行うことにより、地域のよさに気づき、ふるさとを大切にしようとする気持ちや受け継いでいこうとする意欲が高まり、豊かな心を育成に結び付いた。</p> <p>2 縦割り班活動を充実させたことで、異学年の友達と協力して活動する姿が多く見られた。また、めあてをもたせて運動させたことにより、進んで運動に取り組む子どもが増えた。</p> <p>3 図書室や校舎内外の環境整備が進み、学習環境の充実を図ることができた。</p> <p>4 キャリアノートの活用により、自己を見つめたり友達とのかかわりについて考えたりすることができた。</p>
実施月日	実施内容
5月29日 5月～11月 11月24日 5月～2月 5月～10月 5月～12月 5月～9月 12月18日	<p>1 自然体験・福祉体験・勤労生産体験等を取り入れた活動</p> <p>(1) 自然体験活動の実施 ・縦割り班による野外炊事</p> <p>(2) 農業体験活動の実施 ・教材園での栽培活動、専門家から学ぶ農業教室 ・食育学習</p> <p>(3) 総合的な学習の時間の充実</p> <p>1・2年 昔の遊び体験 3年 りんご作り作業体験学習 4年 地域の川の調査学習 5年 米作り作業体験学習 6年 南部町の歴史と文化財調査 全学年 伝統芸能鑑賞会 (諏訪ノ平)</p>
4月17日～12月4日 通年	<p>2 豊かな心やたくましい体を育てるための活動</p> <p>(1) 読み聞かせボランティアによる活動</p> <p>(2) 読書活動の推進</p> <p>(3) 異学年交流活動の充実 ・クリーン作戦 ・縦割り班集会</p> <p>(4) 南部小「よさこいソーラン」の伝承 ・運動会や南部マフェスティバルでの発表</p> <p>(5) 業間活動 (マラソン・縄跳びによる体力づくりの推進)</p>
4月30日・9月17日 11月26日	<p>・校内マラソン大会、校内なわとび大会</p>
5月24日・8月16日	
10月30日・2月16日	
5月～11月 通年	<p>3. 環境美化活動</p> <p>(1) 花いっぱい運動 (花壇整備)</p> <p>(2) 学習環境の充実</p>
通年	<p>4. キャリア教育の推進</p> <p>○学年ごとにキャリアノートの活用 (保護者との連携)</p>

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福地中学校

校長 米 田 清 治

活動名称 (テーマ)	「自ら学び、心豊かな生徒」を育む活動推進事業
事業の効果	<p>地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境に触れさせながら、教育目標である「自ら学び、自ら育つ生徒」「規律正しく、心豊かな生徒」の育成に努め、学校行事や体験活動の中で成果をあげた。</p> <p>① 体育祭や夏季・秋季郡中体連壮行式では、各軍の応援旗の作成や応援委員会を中心とする応援活動を行った。取組を通じて、生徒一人一人の意識の中に、福地中学校を各自が支えることと愛校心を育成することができた。</p> <p>② 文化祭では地域の人材の活用を図り、詩吟の発表を通して生徒の心を豊かにすることができた。</p> <p>③ 立志式を通じて、生徒の将来を展望させ将来設計能力を育成した。</p> <p>④ 生物育成体験の「ネギ・トマト・キュウリづくり」を通して、命の大切さや収穫の喜びを体験させた。</p>
実施月日	実 施 内 容
5月～10月 9月8日・9日 12月～2月 8月31日 10月17日・18日 1月29日 5月31日・8月23日	<p>1 学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校農園野菜の栽培への支援 ・職場体験活動（2学年 職場訪問体験活動）への支援 ・総合的な学習の時間における作品製作の支援 <p>2 行事支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭各軍応援旗やマスコットづくりなどへの活動支援 ・合唱コンクールや文化祭における発表への支援 ・立志式に伴う講演会、記念合唱、文集などへの支援 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内装飾環境、校地内環境美化への支援

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立杉沢中学校

校長 高橋直浩

活動名称 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杉中はぐくみプラン ～「彩新～奏～」個を認め合い、美しいハーモニーを奏でよう～
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学校図書支援ボランティア活動の活性化を通して、生徒の積極的な図書室の活用が見られ、本校の教育目標「自ら考える生徒の」育成の一助となった。 ・ 2 日常的な音楽活動とともに、元校長野村律子氏による全校合唱指導を実施し、本校の目指す学校像④「元気な挨拶と音楽の溢れる学校」の目標達成の一助となった。 昨年度本澤博路氏につくっていただいた「桜シンフォニー」という曲を卒業式に本澤氏と生徒の代表によるギター伴奏で歌った。 ・ 3 全校でよさこいに取り組み、学校行事の他に地域の諸行事に参加して、郷土愛を育み、本校の目指す学校像③「地域から信頼される学校」の一助となった。
実施月日	実施内容
<p style="text-align: center;">通年 不定期開催</p> <p style="text-align: center;">7月13日 通年</p> <p>9月3日・1月31日 3月9日・3月11日 3月12日</p> <p style="text-align: center;">10月18日・1月31日</p>	<p>①学校図書支援ボランティアによる図書室環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックカバーの貼り付け作業や、バーコードによる書籍管理を行うことで、図書の破損等が減り、図書室利用者が増加した。(ブックカバー購入) <p>②音楽教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元校長 野村律子氏を講師に迎え、全校合唱を1回実施(講師謝礼) ・ 毎朝夕、全校音楽を実施 ・ ハンドベル演奏を、長老園訪問、福地地区芸能祭等で披露 ・ 本澤博路氏による卒業式の合唱指導(予行含む講師謝礼)、卒業式でのギター伴奏の実施(演奏者謝礼)(ギター購入) <p>③全校生徒による「よさこい」演舞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉中祭、福地地区芸能祭で今回購入した「鉢巻」を着用して全校よさこいを披露した。(鉢巻購入)

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立名川中学校

校長 高橋 力也

活動名称 (テーマ)	耕 頭 ～ 地域と共に学ぶ ～	
事業の効果	事業を通して、生徒に「豊かな人間性や社会性」、「国際社会に生きる日本人としての自覚」を育成することができた。 1. 郷土に希望と誇りをもち、地域の伝統を受け継ぎ、郷土を愛する心を育成することができた。 2. 地域の人々との触れ合いを通して、さまざまな「生き方」に共感し、自分の生き方を探らせることができた。 3. 教科センター方式を生かした主体的な学習活動を推進することができた。	
実施月日	実 施 内 容	
1. 郷土理解学習 ①名川秋まつりへの参加 9月8日(火)・10日(木) ②文化祭や南部地方えんぶり、八戸えんぶりで、えんぶりを披露 文化祭 10月18日(日) 南部地方えんぶり 2月6日(土) 八戸えんぶり 2月17日(水)	1. 郷土理解学習 ①全校生徒が名川秋まつりに参加した。 ・お通り、お還りのパレード(ブラスバンド・名川中学校山車・各町内の山車等) ②1学年生徒が文化祭や南部地方えんぶりでえんぶりを披露した。南部地方えんぶりでは指導者の協力を得て、全局生歌によるえんぶりを披露した。 ・摺り始め、松の舞、大黒舞、恵比寿舞、田打ち代だし、苗取り、苗運び、田の草取り、休み餅稲取り、脱穀、俵積み、米つき、摺り納め	
2. キャリア教育・学習支援 ①1年「えんぶり」 ②1年「いのちの大切さ講座」 10月28日(水) 3年「性教育講座」 10月6日(火) ③3年表現・創作学習	2. 全学年で総合的な学習の時間を利用して体験活動を実施した。1年「えんぶり」、3年「表現・創作活動」では地域の方々から学習支援をしていただいた。1年「いのちの大切さ講座」では講師を招いて学習した。 ①1年総合「えんぶり」 郷土理解学習と同じ。 ②1年「いのちの大切さ講座」 ・命の重み、自分を大切にす気持ち学んだ。 3年「性教育講座」 ・人の「生」と男女の「性」について学んだ。 ③3年総合「表現・創作活動」 ・サクソ、三味線を学び、文化祭で披露した。 ・郷土の食材を活用した弁当を作った。 ・山車 郷土理解学習と同じ。 ・名久井焼を体験し、文化祭で披露した。	
3. 主体的な学習活動 ①遮光スクリーン ②生物育成学習 ③大判プリンタロール紙・インク・トナー・メンテナンスボックス 授業・文化祭等での展示 通年	3. 主体的な学習活動 ①遮光スクリーン プロジェクターと併用して、メディアスペースを活用した主体的な学習活動を行った。 ②中庭やベランダを利用してゴーヤやきゅうりの栽培体験学習を行なった。 ③大判プリンタロール紙・インク、模造紙 生徒活動のまとめや文化祭やメディアスペースに展示し、互いに学び合う環境づくりを行った。	

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立南部中学校

校長 藤澤 均

活動名称 (テーマ)	「南中愛 ～ 礎 ～」
事業の効果	生徒会活動テーマ（「南中愛 ～礎～」）を基盤とし、豊かな人間性や生きる力と夢を育む生徒を育成するため、「明るくあいさつ」「さわやかな身なり」「健康生活」を柱とする基本的な生活習慣の確立をはかる。また、自主的な生徒活動の推進に取り組み、教育目標達成の一助となるよう、学校教育を推進する。
実施予定年月日	実施内容
<p>7月10日 6月19日・9月4日 9月18日・10月8日 10月9日・12月18日</p> <p>5月17日 10月18日 1月29日</p> <p>4月～3月 11月4日</p>	<p>1 学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JRC活動（2 学年幼稚園・保育園訪問）への支援 ・ 美術教科指導への支援 <p>2 行事支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭にともなう制作材料代等への支援 ・ 文化祭にともなう制作材料代等、合唱コンクールへの支援 ・ 立志式にともなう講演会、記念色紙、記念文集等への支援 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内装飾環境、校内環境美化への支援 ・ 「いのちの大切さ」出前講座にともなう講演会等への支援

